

整理後	整理前	區分	民有地	國有地	公有地	計
五三、〇一九・〇四	五八、八九三・五九			六六九・四五	一、六七・五二	六七、二六三・五五
				三、〇七三・四七	一、三三三・九一	五七、四六六・四三

整理前公共用地面積内譯

國有	公有	民有	小計	河川運河	公園	共同物揚場	堤塘	溝渠	合計
一三、四六一・五三	三、七〇六・八九	九六一・元	一七、二二九・七一	二、二二五・五五		六三・六〇	一七六・四五	六九・〇九	二〇、二三三・四〇

整理後公共用地面積内譯

幹線	補助線	區劃整理線	小計	河川運河	公園	共同物揚場	堤塘	溝渠	合計
九、〇五三・三三	一、〇四八・八一	一七、五三二・五	二七、七一三・二九	二、二二五・五五		六三・六〇			三〇、〇三三・三三

宅地が公共用地となりたる面積

幹線	補助線	區劃整理線	小計	河川運河	公園	共同物揚場	堤塘	溝渠	合計
二、五〇五・六七	五三・二七	七、七五六・七六	二、九二四・七〇			三〇・〇三			二、九四四・七三

第二地區 甲 整地

公共用地が宅地となりたる面積

街	國有	公有	民有	小計	河川運河	公園	共同物揚場	堤塘	溝渠	合計
	一、六一・九 ^坪	— ^坪	二九八・九 ^坪	一、九〇・七 ^坪	五・元 ^坪	— ^坪	二九・三 ^坪	— ^坪	— ^坪	二、四八・六 ^坪

備考 各公共用地の整理前面積に「宅地が公共用地となりたる面積」を加へ、「公共用地が宅地となりたる面積」を減ずるも整理後面積に合致せざるは、公共用地間の用途變更を爲したるものあるに依る。

換地設計上地區を整理前二十ブロック、整理後四十二ブロックに分ち處理せしも、對照の便宜上七分區とせり、其の區域並分區別整理前後宅地面積を表示すれば左の如し。

分區別區域調

分區番號	區	域	分區番號	區	域
一	飯田町五丁目の一部	—	五	飯田町四丁目の一部	—
二	飯田町五丁目の一部		六	飯田町二丁目、同四丁目の各一部	
三	飯田町五丁目、同六丁目の各一部		七	飯田町一丁目の一部	
四	富士見町五丁目、同六丁目、飯田町六丁目及飯田町三丁目の各一部				

分區別整理前後宅地潰地面積調

分區番號	整理前面積	整理後面積	潰地面積	減歩率
一	六、九四三・八五 ^坪	五、五五六・八四 ^坪	一、四七〇・〇一 ^坪	〇・二一〇五
二	五、〇六五・七四 ^坪	四、〇一九・七四 ^坪	一、〇四六・〇〇 ^坪	〇・二〇一六

四	三	二	一
飯田町五丁目の一部	飯田町五丁目、同六丁目の各一部	飯田町五丁目、同六丁目、飯田町六丁目及飯田町三丁目の各一部	飯田町五丁目、同六丁目の各一部
七	六	五	四
飯田町二丁目、同四丁目の各一部	飯田町二丁目、同四丁目の各一部	飯田町二丁目、同四丁目の各一部	飯田町二丁目、同四丁目の各一部

分區別整理前後宅地潰地面積調

分區番號	整理前面積	整理後面積	潰地面積	減步率
一	六,九四三・八五 ^坪	五,五六八・八四 ^坪	一,四七〇・〇一	〇・二〇五
二	五,〇六五・七四	四,〇一九・七四	一,〇四六・〇〇	〇・二〇六
三	一四,八三〇・五〇	一三,一〇六・九七	一,七二三・五三	〇・二一六
四	二〇,九五三・四七	一九,一一二・四二	一,八四二・〇五	〇・〇八八
五	四,九九三・五三	三,八三三・三三	一,〇九五・九〇	〇・二三三
六	九,八九七・四六	七,八六〇・九五	二,〇三六・五二	〇・四一四
七	四,六五一・〇〇	四,〇二六・八九	六五五・一一	〇・一三四
計	六七,二二三・五五	五七,四六六・四〇	九,七九六・二三	〇・一四五

斯くの如く分區間の減步率區々にして最高第六號分區の四割一分四厘、最低第四號分區の八分八厘、地區平均減步率一割四分五厘となり換地設計上支障を生じたるが故に、減步調節の爲潰地充當用として宅地三千三百六十一坪八合五勺を買収し第五章第一節參照且各分區間に二千五百七十坪五合七勺の移出入を行ひたり、分區間の移出入關係を表示すれば左の如し。

分區間移出入面積調

分區番號	移出分區	移入分區
一	—	—
二	—	—
三	—	—
四	—	—
五	—	—
六	—	—
七	—	—
計	—	—

第二地區 甲 整地

分區番號	整理前面積	買收面積	移出面積	移入面積	差引面積	整理後面積	實際面積	減步率
計	九六六・七五	三九六・五	二二・九二	四九四・八	一八八・八九	三三三・三	二,五七〇・七七	〇・一〇〇
二	八四四・三四							八四四・三四
三	七二・四一							七二・四一
四			一六〇・三〇	四九四・八	一八八・八九	三三三・三		八〇六・五〇
五								三九九・一九
六								〇・二三四
七								〇・一三四

一三〇

以上述べたる如く換地設計の必要上潰地充當用地を買收し、且分區間に宅地の移出入を爲したる結果、各分區の減步率に變更を來し、其の最高は第七號分區の一割三分四厘、其の最低は第四號分區の六分一厘となれり、而して本地區に於ける實際潰地面積は六千四百五十坪九勺に減少し、其の減步率一割に低下せり、左に分區別買收面積、移出入面積、實際潰地面積及減步率を表示すべし。

分區別買收移出入實際潰地面積調

分區番號	整理前面積	買收面積	移出面積	移入面積	差引面積	整理後面積	實際面積	減步率
計	六,九四三・八五	一,二六〇・九三	四四八・一三	九六六・七五	六,二〇一・五四	五,五六八・八四	六,八四四・七〇	〇・二一〇
一	五,〇六五・七四		八九四・三四	三九六・五一	四,五六七・九一	四,〇一九・七四	五四八・二七	〇・二一〇
二	一四,八三〇・五〇	一,一五〇・〇〇	七二・四一	二二・九二	一四,八五四・五一	一三,一〇六・九七	一,七四七・五四	〇・二一八
三	二〇,九五三・四七	一,〇八五・二		四九四・一八	二〇,三六二・五四	一九,一一一・四二	一,二五二・二	〇・六一一

分區番號	整理前面積	買收面積	移出面積	移入面積	差引面積	整理後面積	實際面積	減步率
計	四,九一九・五三	八八四・四八	八〇六・五〇	一八八・八九	四,三〇一・九二	三,八三三・六三	四七八・二九	〇・二一一
五	九,八九七・四六		三九九・一九	三二・三三	八,九七六・一一	七,八六〇・九五	一,二五二・一六	〇・二四
六	四,六五二・〇〇				四,六五二・〇〇	四,〇六八・八九	六五二・一一	〇・一三四
七	六,七二二・三五	三,三四六・一〇	二,五七〇・七七	二,五七〇・七七	六,三九一・六三	五,七四六・四四	六,四四四・〇九	〇・一〇〇

四	三	二	一
一〇、九五・四七	一四、八三〇・五〇	五、〇六五・七四	六、九四三・八五
一、〇八五・二	一一五・五〇	—	一、二六〇・九三
—	七二・四二	八九四・三	四四八・一三
四九四・一八	二二・九二	三九六・五	九六六・七五
二〇、三六二・五四	一四、八五四・五一	四、五六七・九一	六、二〇一・五四
一九、二一・四三	一三、一〇六・九七	四、〇九七・七四	五、五一六・八四
一、二五二・二二	一、七四七・五四	五四八・二七	六八四・七〇
〇・〇六一	〇・二八	〇・二〇	〇・二〇

計	七	六	五
六七、二二・五五	四、六五二・〇〇	九、八九七・四六	四、九九・五三
三、四六六・〇三	—	八四・四八	—
二、五〇〇・七七	—	三四九・一九	八六・五〇
二、五〇〇・七七	—	三三・三三	一八八・八九
六三、九六・五三	四、六五二・〇〇	八、九七六・一一	四、三二・九二
五七、四六六・四	四、〇六六・八九	七、八六〇・九五	三、八三・六三
六、四三〇・〇九	六五・一一	一、二五二・二六	四七八・二九
〇・一〇〇	〇・一三四	〇・二四	〇・一一

第四章 土地の評価

第一節 整理前土地の評価

整理前路線價指數並土地各筆平均坪當指數に關する件は、大正十五年五月三日土地區劃整理委員會に諮問し決定に至らざりしが、昭和四年六月十八日土地各筆清算に關する件を提案するに當り、其の内容を爲すの故を以て本案を撤回し、土地各筆清算に關する件を審議し同月二十二日原案の通可決せり。

本地區整理前の土地評價には、路線價に對する奥行價格百分率中甲、乙及丙の三率を適用したり、其の適用路線を掲ぐれば左の如し。

第一 甲率適用路線

- 一 九段坂下より俎橋に至る電車通。

第二 乙率適用路線

第二地區 甲 整地

- 一 九段坂下より飯田橋に至る電車通。
- 二 九段坂下より外濠に沿ひ飯田町一丁目に至る路線。
- 三 俎橋際より飯田町二丁目、同四丁目を経て新川橋に至る路線。
- 四 飯田町二丁目三十七番地先より三十一番地先に至る路線。
- 五 飯田町二丁目と同四丁目との界の堀留橋通。
- 六 飯田町四丁目十番地先より新川橋に至る路線。
- 七 飯田町四丁目と同五丁目との界の路線。
- 八 飯田町三丁目十番ノ一の東端電車通より西北に斜走し富士見町五丁目に至る路線。
- 九 飯田町三丁目十番ノ一北側通。
- 一〇 富士見町六丁目二十一番ノ一地先より同五丁目十五番地先に至る路線。

第三 丙率適用路線

甲及乙率適用以外の路線。

路線價指數は土地の状況に依り三百六十個乃至千個と評定したり、即ち九段坂下より俎橋に至る電車通を最高千個、飯田町六丁目内の行止り道路を最低三百六十個と定めたり、路線價指數に基き算出したる土地各筆平均坪當指數の最高は九百七十六個、飯田町二丁目六十番ノ一にして、最低は二百四十九個、飯田町六丁目二十四番ノ九なり。

宅地全筆の總指數は二千五百五十六萬七千四百六十八個にして、之を宅地總面積六萬七千二百六十二坪五合五勺にて除したる平均坪當指數は三百八十個なり。

借地權利價割合は市有河岸地を五割五分、一般宅地を二割八分乃至三割二分と定めたり。

第二節 整理後土地の評價

整理後路線價指數並土地各筆平均坪當指數に關する件は單獨に土地區劃整理委員會に諮問せず、昭和四年六月十八日附議に係る土地各筆清算に關する件の内容として審議を經、同月二十二日原案の通可決せり。

飯田町六丁目二十四番ノ九なり。

宅地全筆の總指數は二千五百五十六萬七千四百六十八個にして、之を宅地總面積六萬七千二百六十二坪五合五勺にて除したる平均坪當指數は三百八十個なり。

借地權利價割合は市有河岸地を五割五分、一般宅地を二割八分乃至三割二分と定めたり。

第二節 整理後土地の評價

整理後路線價指數並土地各筆平均坪當指數に關する件は單獨に土地區劃整理委員會に諮問せず、昭和四年六月十八日附議に係る土地各筆清算に關する件の内容として審議を経、同月二十二日原案の通可決せり。

整理後の土地評價には整理前と同じく甲、乙及丙の三率を適用したり、其の適用路線を掲ぐれば左の如し。

第一 甲率適用路線

一 幹線第二號。

第二 乙率適用路線

一 幹線第十四號。

二 補助線第二百二十四號。

三 飯田町四丁目十番地先より九段坂下を経て飯田町一丁目に至る區劃整理路線。

四 俎橋際電車通より堀留橋際に至る十一米區劃整理路線。

五 飯田町二丁目と同四丁目との界の八米區劃整理路線。

六 新川橋より幹線第十四號に至る十一米區劃整理路線。

七 飯田町三丁目十番ノ一東端幹線第十四號より西北に斜走し富士見町五丁目補助線第二百二十四號に至る八米區劃整理路線。

八 飯田町四丁目、同五丁目間の十一米區劃整理路線。

第二地區 甲 整地

第三 丙率適用路線

甲及乙率適用以外の路線。

線路價指數は土地の整理状況に依り三百六十個乃至千七十個と評定したり、即ち幹線第二號を最高千七十個、富士見町六丁目四米區劃整理路線を最低三百六十個と定めたり、路線價指數に基き算出したる土地各筆平均坪當指數の最高は千三十六個、飯田町二丁目六十番ノ一にして、最低は二百四十一個、飯田町六丁目二十五番なり。

換地全筆の總指數は二千五百十六萬千二百七十四個にして、之を換地總面積五萬七千四百六十六坪四合二勺にて除したる平均坪當指數は四百三十八個なり。

借地權利價割合は整理前同様市有河岸地を五割五分、一般宅地を二割八分乃至三割二分と定めたり。以上記述せる整理前後に於ける最高最低の路線價指數、各筆坪當指數及宅地總平均坪當指數を表示すれば左の如し。

整理前後路線價各筆坪當及宅地總平均坪當指數調

區分	整理前		整理後	
	指數	價格	指數	價格
路線價	1,000個	480.00円	1,070個	533.60円
各筆坪當	最高 360	173.80	最高 360	173.80
	最低 97	46.48	最低 106	47.26
宅地總平均坪當	360	124.00	436	210.24

備考 指數單價は四十八錢なり。

又整理前後に於ける所有權、借地權の評定權利指數を掲ぐれば左の如し。

整理前後所有權借地權評定權利指數調

區分	整理前		整理後	
	指數	價格	指數	價格
所有權				
借地權				

路 線 價	各筆坪當		路 線 價
	最 低	最 高	
300	97	360	400.00
360	199	278.00	1,070
380	299	468.46	360
	299.53	1,036	523.60
	182.40	242	171.80
		497.26	256.60
		202.24	202.24

備考 指數單價は四十八錢なり。
又整理前後に於ける所有權、借地權の評定權利指數を掲ぐれば左の如し。

整理前後所有權借地權評定權利指數調

區 分	整 理 前		整 理 後	
	指 數	價 格	指 數	價 格
所 有 權	外 二、一五、三六九 ^個 一、一六六、五五四	一〇、一五九、三七・三 ^円 五五九、九四五・九二	二、八五一、二五四 ^個 三、三〇九、二一〇	一〇、四八九、〇三三・九二 ^円 一、五八八、三七・六〇
借 地 權	三、三五、五五五	一、五三三、〇六一・六〇	三、三〇九、二一〇	一、五八八、三七・六〇
合 計	外 二、四、〇〇、九二四 一、一六六、五五四	一一、七三三、四八・七 ^円 五五九、九四五・九二	二、五、一六、二七四 ^個 三、三〇九、二一〇	一二、〇二二、四一・五 ^円 一、五八八、三七・六〇

備考 一 整理前外書は潰地充當用買收地の指數及價格なり。
二 整理前の總指數(潰地充當用買收地の指數を包含するもの)は二五、五六七、四六八個なり。
尙整理前後に於ける土地權利價割合を表示すれば左の如し。

區	域	土地權利價割合		
		所有權	借地權	計
一 俎橋より九段坂下を経て飯田橋に至る電車通（幹線第二號、幹線第十四號の内新設を除く區間及在來電車通の一部）		六	三	100
一 市有河岸地		五		100
一 其他		三	六	100

備考 區域欄の括弧内は整理後の街路別を示す。

第五章 換地處分

第一節 換地處分案の決定

土地各筆清算に關する件は昭和四年六月十八日、換地處分に關する件及補償金の配當に關する件は昭和四年六月二十二日土地區劃整理委員會に諮問し、共に同年六月二十二日原案通可決したるを以て、同日内務大臣に本地區の土地區劃整理設計、換地處分及土地補償金の配當方法決定に關する認可申請を爲

し、同月二十五日認可、同日内務省告示第二百十一號を以て換地處分認可の告示あり、依て即日東京市告示第二百八十八號を以て右換地處分の件認可ありたる旨を告示せり、而して本地區に於て換地處分を爲したる土地は所有地整理前三百七十五筆、整理後三百三十一筆、借地整理前五百七十三件、整理後五百七十一件なり、土地權利者は所有權者整理前後共百七十一人、借地權者整理前四百六十八人、整理後四百六十六人なり。

土地各筆清算に際しては整理前清算土地評定權利指數二千四百四十萬九百十四個を以て、換地の評

第一節 換地處分案の決定

土地各筆清算に關する件は昭和四年六月十八日、換地處分に關する件及補償金の配當に關する件は昭和四年六月二十二日土地區劃整理委員會に諮問し、共に同年六月二十二日原案通可決したるを以て、同日内務大臣に本地區の土地區劃整理設計、換地處分及土地補償金の配當方法決定に關する認可申請を爲

し、同月二十五日認可、同日内務省告示第二百一十一號を以て換地處分認可の告示あり、依て即日東京市告示第二百八十八號を以て右換地處分の件認可ありたる旨を告示せり、而して本地區に於て換地處分を爲したる土地は所有地整理前三百七十五筆、整理後三百三十一筆、借地整理前五百七十三件、整理後五百七十一件なり、土地權利者は所有權者整理前後共百七十一人、借地權者整理前四百六十八人、整理後四百六十六人なり。

土地各筆清算に際しては整理前清算土地評定權利指數二千四百四十萬九百十四個を以て、換地の評定權利指數二千五百十六萬二千二百七十四個を除したる比率一・〇三一・一六一一を、整理前の各筆權利指數に乘じて整理前の比例權利指數を算出せり。

換地處分の結果左の如し。

一 清算を爲したるもの

換地說明書別	從前の土地			換地			計算上の清算		清算	
	面積	積地	比例權利指數	面積	積地	評定權利指數	徵收	交付	徵收	交付
甲	六三、四九二・三四 ^坪	三六、一〇八 ^坪	二、九二四、三七七 ^個	五七、四六六・四二 ^坪	二八、九、五三 ^坪	二、九二九、三二二 ^個	三五二、五四七、五三二、五八、三四七、〇四	八七、〇七五、三六二、七〇、五八七、〇四二、六三、四六・九二	四四、九五三、九六	五三、〇七八〇
乙	一三五、四三三・九〇	一、五五八、五〇、五六	三、一五八、八七	一三三、〇三三・九二	一、五五二、三八五・四四	三、一三三、〇三三・九二	五六、二二七、六八	六三、三五二、八〇	—	—

計	六、四三三、二五七、七六六	三、一六、二七四	三、一六、二七四	四八、七五、二〇三、六九八、八七〇、七五、三三三、三三三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
	三、一四、七五〇、一一四、七五〇	三、一六、二七四	三、一六、二七四	三、一四、七五〇、一一四、七五〇

備考 一 換地説明書別欄、甲は所有權と所有權者にして借地權を有するもの、借地權との清算を、乙は借地權のみの清算を掲ぐ。
 二 従前の所有地面積は臺帳面積に據り、借地面積は申告面積なり。
 三 甲借地面積は乙より移記したるものにして、乙借地面積は甲に移記したるものを除きたる面積なり。

二 特別處分を爲したるもの

一 換地を交付し清算を行はざりしもの

所有者	従前の土地			換地			摘要
	區町丁目	地番	面積	區町丁目	地番	面積	
東京市	麴町區 飯田町二丁目	二六ノ三	共 同 物 揚 場	麴町區 飯田町二丁目	三	共 同 物 揚 場	三、六 充

二 換地を交付せず清算金を交付したるもの

權利者	區町丁目	地番	地目	權利別	面積	指數	價格	摘要
東京市	麴町區 飯田町二丁目	七〇	河岸地	所有權	六五・〇三	二〇・七五	九、九六・八	權利者との協 定に依る

荒木 外三名	同	七〇ノ(1)	同	賃借權	三五・〇三	八、七六	四、一九四・二四	
東京市	同	七一	同	所有權	一五・〇〇	五、四五二	二、六六・九六	
荒木 外三名	同	七一ノ(1)	同	賃借權	一三・六〇	五、八八七	二、八五・七六	
山崎 千松	同	一〇ノ二	同	同	六・〇〇	七・〇〇	四、〇〇・〇〇	

権利者	區町丁目	地番	地目	權利別	面積	指數	價格	摘要
東京市	麴町區 飯田町二丁目	七〇	河岸地	所有權	六・〇三 ^坪	二〇・七五 ^個	九、九三・八 ^円	權利者との協 定に依る

荒木 外三名平	同	七〇ノ(1)	同	賃借權	三五・〇三	八、七八	四、一九四・二四	
東京市	同	七一	同	所有權	二五・〇〇	五、四五二	二、六六・九六	
荒木 外三名平	同	七一ノ(1)	同	賃借權	二三・六〇	五、八八七	二、八五・七六	
山崎 外一名松	飯田町三丁目	一〇ノ二 ノ(25)	宅地	同	六・四九	九二〇	四三六・八〇	
大澤政次郎	飯田町四丁目	一三ノ九 三ノ三 合併ノ三	敷道 地路	所有權	八・八〇	三三六	一五・四八	
大倉土 株式會社	同	合併ノ四	同	同	六・一〇	二二六	一〇八・四八	
高橋冠爾	同	合併ノ四	同	同	五・九〇	二四九	二九・五三	
岩本傳三	同	一四ノ五ノ二 一六ノ六ノ二	私設 道路	同	一六・八〇	六六二	三七・七六	
飯塚新七	同	一四ノ五ノ二 一六ノ六ノ二	同	同	五・三	一三三	七・二四	
大原信一	同	一四ノ二ノ三 一六ノ三ノ三	同	同	六・一五	二四三	二六・六四	
遠藤亮太郎	同	一四ノ七ノ八 一六ノ八ノ九 一〇ノ二	同	同	八・三六	一九二	九・六八	
神通清次郎	同	同	同	賃借權	八・三六	七六	三六・四八	

第二地區 甲 整地

第二地區 甲 整地

阿久津厚	同	二二ノ四	同	所有權	一八・九〇	七九〇	三七九・二〇
小倉要	同	一二ノ三	同	同	三・四八	九三	四四・六四
柳田直平	同	一三ノ二	同	同	四五・四八	一、二八	五六・六四
草繫全宜	同	二一ノ四	道路敷	同	一五・〇〇	九八	四四・四四
佐竹義春	同	二三ノ一	宅地	同	四九・〇七 内崖地 一五・〇九	一五、三七七	七、三六・九六
同	同	二四ノ五	私設 道路	同	二六・二四		
同	同	二四ノ六	同	同	二四・二三	二、九八三	一、四三・八四
同	同	二四ノ七	同	同	二四・三四		
同	同	二四ノ八	同	同	五・六九		
同	同	二四ノ三	宅地	同	一四・一四	五五	二五・〇〇
同	同	二四ノ三	同	同	三九・四九	一、四六五	七三・二〇
同	同	二四ノ三	同	同	一〇・五〇	七六	三六・二六
同	同	一五ノ四	同	賃借權	三六・〇五	四、九〇〇	二、三五・〇〇
山根銀藏	同	富士見町五丁目					

河西益男	同	一五ノ五	同	同	一九・五	二、七七	一、〇九・九六
安見與吉	同	一五ノ六	同	同	二・〇〇	二、三八	一、一四・八八
内務省	同	二八ノ四 (2)	置材 場料	同	四五・五	三、三三	六、三九・七六
同	同	同	同	所有權	四三・七	五、四八	二五、一五・八四

たるもの四十三通なり又書留郵便に附したるもの八十一通内送達済のもの七十五通、現住所不明として返送せられたるもの六通、其の他官公署に對するもの五通にして、結局送達を了したるもの計五百九十三通、送達不能なりしもの計四十九通なり。

前記の如く多數送達不能となりたるは、轉居に因る現住所の移動又は権利者の變更ありたるも其の申告を怠りしに因るものにして、是れ等に對しては同四年七月十日より地主又は管理人若は借家人等に就き種々苦心の結果現住所を調査し、同年十月十四日迄に夫々送達を了したり。

第二 清算金の徴收

本地區に於ては徴收清算金に充當し得べき土地補償金なきを以て、徴收清算金は各納付義務者より直接其の全額を徴收すべきものとす、而して其の清算金總額は三十一萬五千五百四十圓にして納入人員三百八人なり。

右納入人員中分納申請資格者即ち百圓以上納付すべきもの二百二十二名なるも、内官公署分二件を除き差引二百二十人に對し、分納申請期限を昭和四年七月二十日とし、同月二日附を以て換地處分に關する通知書と共に分納申請書用紙を送付し置きたる處、右期限内に申請書を提出したるもの百五十六人に對し、資格者總數に對し約七割の申請者ありたるも、尙同年七月二十五日附を以て未提出者六十六人に對し更に同年八月十日迄に提出方注意を促せしも右期日迄に提出したるものなし。

依て右申請書全部を審査の上、同四年九月六日分納許可の決定をなし同日各申請者に對し許可書を送付せり。

今分納清算金に付其の内譯を示せば左表の如し。

回数區分	元	金	利	子	計	人	員	納	期	限
一	二三、五四・九二			一	二三、五四・九二		一五	昭和	四、九、三〇	
二	一九、九六・〇七			五、五二・二四	二五、九七・三一		一五	同	五、三、三	
三	一四、九七・八七			五、一五・五七	二〇、二九・四四		三三	同	九、三〇	

依て右申請書全部を審査の上、同四年九月六日分納許可の決定をなし同日各申請者に對し許可書を送付せり。

今分納清算金に付其の内譯を示せば左表の如し。

回数區分	元	金	利	子	計	人	員	納	期	限
一	一三、五四・九一			一	一三、五四・九一		一	同	昭	和
二	一九、九七・〇七			五、九五一・二四	二五、九七・三三		一	同	五、	三、
三	一四、九七・八七			五、一五・五七	二〇、一三・四四		三	同	九、	三、
四	一四、二八・八六			四、五三・〇一	一八、八二・八七		一	同	六、	三、
五	一四、〇七・八二			三、九四・六六	一八、〇二・四八		七	同	九、	三、
六	一四、〇四・〇〇			三、四二・五二	一七、四六・五二		七	同	七、	三、
七	一三、八七・八七			二、八九・六二	一六、七七・四九		九	同	九、	三、
八	一四、〇六・三三			二、三〇・二八	一六、三六・六一		三	同	八、	三、
九	一四、四七・三三			一、七三・四八	一六、二〇・八一		七	同	九、	三、
〇	一四、六九・八一			一、一六・四四	一五、八五・二六		六	同	九、	三、
二	一四、五八・三二			五、一六・六六	一五、一四・九八		五	同	九、	三、
計	一七、二五・九二			三、七八・〇六	二〇、〇三・九八		一	同	九、	三、

本地区の清算金徴收事務は麴町區役所に於て取扱ふものにして、昭和四年九月より之が徴收を開始せり。

第三 清算金の交付

本地区に於ける交付清算金總額は三十一萬五千五百四十圓にして、昭和四年七月二十二日之が支拂を開始し、同六年三月末日迄に交付せし金額二十七萬七千七百八圓二十五錢なり。

第二地區 甲 整地

而して前記交付済額中麴町區役所に於て支拂を爲したるもの二十四萬五千九百五十三圓八十五錢、官廳の納入告知書に依り市會計課に於て納付したるもの二萬八千二百二十七圓三十六錢(內務省及逓信省分)他地區の徴收清算金と相殺に依り支出したるもの二千二百二十一圓九十二錢(本市電氣局分)及抵當權者の支拂同意なき爲東京供託局へ供託を爲したるもの千三百五圓十二錢なり。

第六章 土地補償金

本地區に於ける宅地減歩率は一割四分五厘六四〇一なりしを以て、特別都市計畫法第八條に依り補償金の交付を要する爲、同法第五條の規定に依る補償金の配當割合を定むるに當り、幹線街路敷充當用として國に於て買收したる土地に對しては該土地の指數相當額とし、其の他の土地に對しては補償總指數より前記指數を控除したる指數を各整理前の權利指數に按分するものとし之を土地區劃整理委員會に諮問して決定せり(第一章第二節及第五章第一節參照)

然るに國に於て買收したる土地の指數相當額が補償總指數と同額なる爲、買收地以外の土地に對し配當すべき補償金なく從て交付を要するものあらずと雖、國買收地に配當する補償金の決定を求むる爲左表の計算に依り原案を作成の上、昭和四年六月二十五日補償審査會に提出し、同月二十六日原案の通決定せられ、同月二十八日其の旨通知を受けたり。

補償金計算調書

摘要		員數
整理前	宅地總面積	六七、二六二坪五五
整理後	宅地總面積	五七、四六六坪四二
潰地	面積	九、七九六坪一三

然るに國に於て買収したる土地の指數相當額が補償總指數と同額なる爲、買収地以外の土地に對し配當すべき補償金なく從て交付を要するものならずと雖、國買収地に配當する補償金の決定を求むる爲左表の計算に依り原案を作成の上、昭和四年六月二十五日補償審査會に提出し、同月二十六日原案の通決定せられ、同月二十八日其の旨通知を受けたり。

補償金計算調書

摘要		員數
整理前宅地總面積	六七、二六二坪五五	
整理後宅地總面積	五七、四六六坪四二	
潰地總面積	九、七九六坪一三	
整理前宅地總面積に對する潰地總面積の割合	〇・一四五六四〇一	
整理前宅地の一割に相當する面積	六、七二六坪二五	
補償總面積	三、〇六九坪八八	
整理前宅地總面積	二五、五六七、四六八個	
同平均坪當指數	三八〇個	
指數單價	〇圓四八	
整理前宅地坪當價格	一八二圓四〇	
補償總數	一、一六六、五五四個	
補償金總額	五五九、九四五圓九二	
特別都市計畫法施行令第二十九條該當中指數相當額配當のもの	<p>所有權 借地權</p> <p>三、三六一坪八五 一、四一坪六五 一、一六六、五五四個 一、一六六、五五四個 五五九、九四五圓九二</p>	
差引要交付補償指數及補償金額	一	

第二地區 甲 整地

第二地區 甲 整理地

備考

一四八

- 一指數單價四十八錢は、昭和三年六月二十六日補償審査會に於て決定せるものなり。
- 二特別都市計畫法施行令第二十九條該當地の面積は、土地臺帳又は官廳の臺帳面積を掲上せり。

第七章 登記及地價配賦

第一節 登記

第一 代位登記

土地に關し代位登記を爲したる件數は土地表示更正及變更百一件、土地名義人表示更正及變更十四件、土地分合筆五十四件、家督相續七件なり。

第二 區劃整理登記

土地囑託筆數は整理前三百六十三筆、整理後三百二十六筆にして、建物囑託件數は要登記のもの四百五十九件、現存を認め難きもの九百四十二件なり、囑託書を東京區裁判所富士見町出張所に提出したるは昭和四年八月二十八日にして、登記の完了は同年九月二十八日なり、而して登記の停止期間は換地處分告示の日即ち昭和四年六月二十五日より約三箇月に亘れり。

第二節 地價配賦

第一 地價配賦前の處理

本地區の土地區劃整理施行申告、工事著手届及工事完了届を神田橋稅務署長に提出したる年月日左の如し。

- 一 土地區劃整理施行申告 昭和二年十一月五日
- 一 工事著手届 同 日

一 工事完了届 昭和四年六月二十七日

五十九件、現存を認め難きもの九百四十二件なり、囑託書を東京區裁判所富士見町出張所に提出したるは昭和四年八月二十八日にして、登記の完了は同年九月二十八日なり、而して登記の停止期間は換地處分告示の日即ち昭和四年六月二十五日より約三箇月に亘れり。

第二節 地價配賦

第一 地價配賦前の處理

本地區の土地區劃整理施行申告、工事著手届及工事完了届を神田橋稅務署長に提出したる年月日左の如し。

- | | |
|--------------|------------|
| 一 土地區劃整理施行申告 | 昭和二年十一月五日 |
| 一 工事著手届 | 同 日 |
| 一 工事完了届 | 昭和四年六月二十七日 |

第二 地價配賦

地價配賦案は昭和四年七月二十九日之が作成を了し、七月三十一日神田橋稅務署長に提出し、九月五日地價配賦許可の指令を受けたり。

本地區整理前有租地の地價總額は三十四萬六千九百九十二圓三十二錢にして、整理に依り減少したる有租地面積に對する控除地價額は三萬八千八百五十七圓八十四錢なり、之を前述の地價總額三十四萬六千九百九十二圓三十二錢より控除したる三十萬七千三百三十四圓四十八錢は、即ち整理後有租地に對し配賦せらるべき地價總額とす、而して整理後各筆評定指數千個當配賦地價額は十四圓二十四錢一二〇三九なり。

地價配賦算定に關する數字を示せば左の如し。

一 整理前後有租地面積

整理前面積	整理後面積	差引減步面積
五五、二六、五七 ^坪	四八、九八、〇三 ^坪	六、二八、五四 ^坪

第二地區 甲 整地

第二地區 甲 整地

運河 道路 河川	國有免租地			市有免租地					區有免租地	民有免租地				
	計	同 官有地	用鐵 地	計	物共 揚場	河岸 地	置材 場料	濠 敷	用軌 地道	道 路	校公 敷立 學地	計	校私 敷立 學地	道 路
一、三九・八九	六、六〇・四	五七・〇七	三、三六・〇二	六、一〇六・七三	六三・六〇	一七二・四五	一、一六・四九	七九五・七四	二六一・〇九	三、六九七・三五	一三七・〇〇	四、五五五・六一	四、一六・六三	四八・九九
二、四六・五三	二七	三	九	一五	一	五	三	四	一	五	一	四	二	三
二、二五・五五	三、〇七三・四七	四八・三三	一	一、二四三・六	三三・六	九四〇・〇六	一	二四〇・〇三	一	一	二八・〇七	四、一三六・六	四、一三六・六	一
一七、七一・二九	六	一	一	五	六	一	四	一	一	一	一	六	六	一
一五、二四九・七六	一	一	一	一	〇・九	〇・九	一	一	一	一	一	一	一	一
八七六・六	三、六〇七・四七	一八・七六	三、三六・〇二	四、八三三・〇三	一	一七二・四五	一七六・四三	七九五・七四	二、〇六	三、六九七・三五	八・九三	四、八・八五	二九・八六	四八・九九
一五、二四九・七六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一五、二四九・七六	三	二	九	〇	四	一	五	四	一	五	一	六	五	三

有租地 宅地	區分 地目	從前の土地		整理後の土地		面積差引		筆數差引	
		臺帳面積	筆數	實測面積	筆數	増	減	増	減
內崖地、二九二・四九 外道路、一三〇・七五		五、七九・三四 坪	一三四	四、九八・〇三 坪	三三	一 坪	四、八三・三 坪	一 坪	一 坪

第二地區 甲 整地

合 計	公共用地		
	溝渠	堤	塘
八五、九六・五 內崖地、二九・四 外道路 二〇・五	一四、六六・九	六〇九・〇	一七・四
三五	一	一	一
八七、四九七・五	二九、九七・四	一	一
三三	一	一	一
一六、二六五	一六、二六四	一	一
一四、四五一・三	七五・四	六〇九・〇	一七・四
九	一	一	一
三	一	一	一

乙 建物其の他の工作物移轉

第一章 整理前の建物

第一節 建物狀況

乙 建物其の他の工作物移轉

第一章 整理前の建物

第一節 建物状況

本地區整理前の宅地總面積は六萬七千二百六十二坪五合五勺にして、之に所在する建物の總棟數は千四百八棟此の延坪數三萬三千三百坪二合九勺なり、而して建物一棟當り宅地面積は四十七坪七合七勺、同建物延坪數は二十三坪六合五勺なり。

前記總棟數の内移轉を要するもの千三百三十九棟にして、爾餘の六十九棟は換地の關係に依り其の儘据置き得る不要移轉建物なり、之を構造別に示せば左の如し。

種別	建物總數		内		譯	
	棟數	延坪數	要移轉建物 棟數	延坪數	不要移轉建物 棟數	延坪數
木造建物	一、三六七	三〇、四三・四 ^坪	一、三三三	二九、二五・二 ^坪	四	一、三六・八 ^坪
石造平家建	一	五・二五	一	五・二五	一	一
同 二階建	一	三・〇〇	一	三・〇〇	一	一
煉瓦造平家建	五	四八・五	五	四八・五	一	一
同 三階建	二	一〇・〇三	一	一	一	一〇・〇三

第二地區 乙 建物其の他の工作物移轉

第二地區 乙 建物其の他の工作物移轉

建物總數に對する百分比	棟數	要移轉棟數に對する百分比	延坪數	坪數	一棟平均坪數
鐵骨造 平家建	1	1	1	110.00	110.00
同 二階建	1	1	1	228.50	228.50
鐵骨木造 二階建	1	1	1	152.40	152.40
鐵筋コンクリート造 平家建	2	2	1	50.00	25.00
同 二階建	4	3	3	180.00	45.00
同 三階建	1	1	1	170.00	170.00
土藏造 二階建	2	2	2	270.00	135.00
計	1,100	1,100	1,330	2,968.20	2,698.20
建物總數に對する百分比	100.00	100.00	95.10	86.94	4.90
					3,630.00
					11.06

一五四

要移轉建物の用途を大別すれば、住宅六百七十八棟の五割を最高とし、商店四百十棟の三割之に次ぎ、以下工場、倉庫、飲食店等の順位なり、之を表示すれば左の如し。

種別	棟數	要移轉棟數に對する百分比	延坪數	建物	
				坪數	一棟平均坪數
官署	7	0.52	304.21	304.21	43.46
學校	4	0.36	304.35	304.35	76.08
神社	1	0.09	1.55	1.55	1.55
教會	1	0.09	107.30	107.30	107.30

種別	棟數	要移轉棟數に對する百分比	延坪數	坪數	一棟平均坪數
病院	5	0.45	570.33	570.33	114.06
醫院	1	0.08	65.15	65.15	65.15
銀行	1	0.08	34.25	34.25	34.25
事務所	4	0.36	293.86	293.86	73.47
住宅	678	59.33	2,363.87	2,363.87	34.87

官署	七	0.52	304.23坪	43.46坪
學校	四	0.30	304.35	66.08
神社	一	0.08	1.55	1.55
教會	一	0.08	109.30	109.30

病院	五	0.37	570.33	114.06
醫院	一八	1.30	655.15	55.29
銀行	一	0.08	34.25	34.25
事務所	四	0.30	293.86	73.47
住宅	六七八	5.33	13,631.87	20.11
旅館	二三	0.97	745.23	57.33
下宿	一六	1.19	72.33	45.08
商店	四〇	3.02	7,566.77	18.76
飲店	四四	3.29	891.30	20.40
浴場	六	0.45	376.62	62.77
運送業	一六	1.19	544.44	46.03
工場	五	4.33	1,653.13	26.50
倉庫	五	3.96	931.15	17.40
自動車	四	0.30	344.85	83.71
計	一,三三九	100.00	29,681.91	33.33

第二節 地區告示後の建築

大正十三年三月二十七日東京都市計畫土地區劃整理施行地區の告示後に於て、假設建築物として新築、改築、増築等の爲、東京府知事に許可申請を爲したるもの建物五百二十六棟、工作物二件、内許可せら

第二地區 乙 建物其の他の工作物移轉

第二地區 乙 建物其の他の工作物移轉

一五六

れたるもの建物四百五十一棟、工作物二件、許可せられざりしもの建物七十五棟なり、而して前記の如く不許可の指令を受けたるにも拘らず新築、改築、増築等を爲し、事業施行の必要上移轉を要したるもの建物三十八棟なり。

以上の建物其の他の工作物を新築、改築、増築等に区分し、尙不許可處分を爲したるものに對しては其の原因を類別し各之を表示すべし。

假設建築物築造申請に對する種別調

區分	申請		許可		不許可	
	建物棟數	工作物件數	建物棟數	工作物件數	建物棟數	工作物件數
新築	三五	二	二七	二	六	一
改築	三	一	二	一	五	一
増築	一五	一	一三	一	三	一
其他	五	一	五	一	一	一
計	五六	二	四一	二	一五	一

不許可處分の原因調

區分	建物棟數	工作物件數
路線	三	一
支障	三	一
其他	三	一
計	三	一

坪數	超過
五	一
二	一
一	一

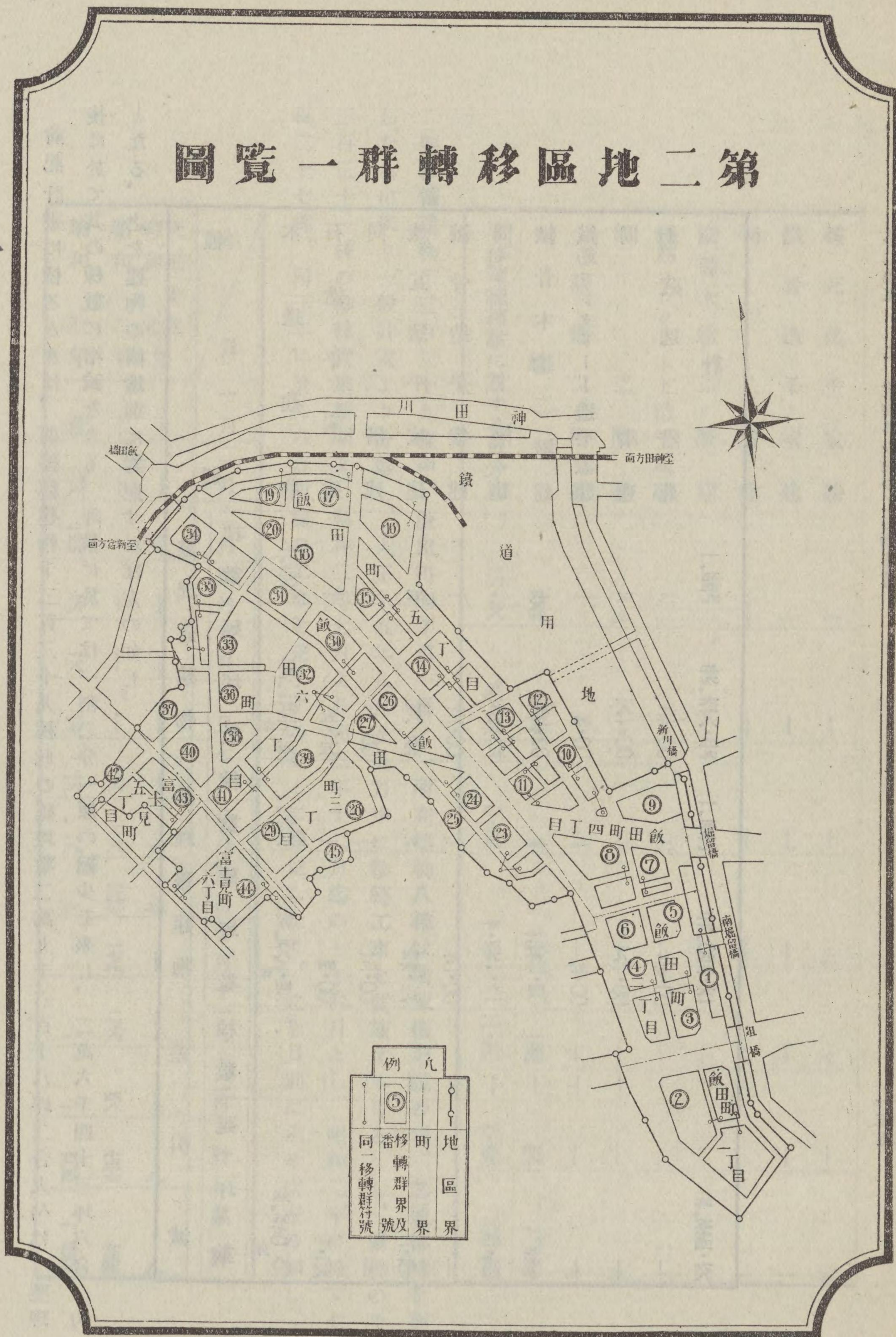
年	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計	累計
大正十五年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
昭和二年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
昭和三年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
累計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

前記計畫に依るときは、要移轉建物千三百三十九棟此の延坪數二萬九千六百八十八坪二合九勺は、整理後に於て其の棟數に増減なきも、坪數に於ては一割二分一厘の縮少を來し、二萬六千四十三坪六合一勺となる、之を建物の構造別に對照すれば左の如し。

種別	整理前建物		整理後建物		差引減	
	棟數	延坪數	棟數	延坪數	棟數	延坪數
木造 平家 建物	一、三三三	二九、一五二・二四	一、三三三	二五、五八二・四二	0	三、五七〇・八二
石造 平家 建物	一	五・五	一	四・〇〇	0	一・五
同 二階 建物	一	二・〇〇	一	二・〇〇	0	0
煉瓦造 平家 建物	五	四八・五	五	四六・八	0	一・七
鐵骨造 平家 建物	一	三・〇〇	一	三・〇〇	0	0
同 二階 建物	一	三・八五	一	三・六	0	〇・二四
鐵骨木造 二階 建物	一	一五・四〇	一	一五・四〇	0	0
鐵筋コンクリート造 平家 建物	一	五・〇〇	一	五・〇〇	0	0
同 二階 建物	三	一八・〇〇	三	一八・〇〇	0	0
土藏造 二階 建物	二	二七・〇〇	二	二七・〇〇	0	0
計	一、三三九	二九、六八二・元	一、三三九	二六、〇四三・六	0	三、五三八・四

第二地區 乙 建物其の他の工作物移轉

圖覽一群轉移區地二第

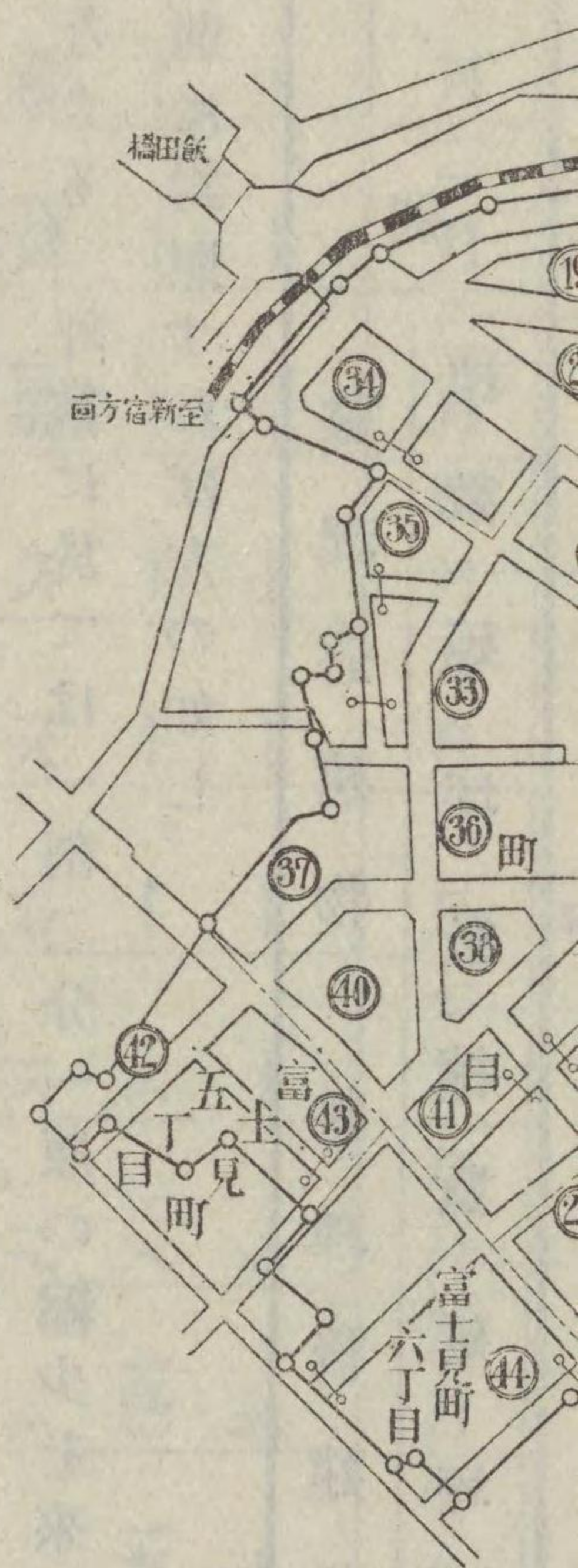


第三章 移轉手續

第一節 移轉命令

堀留橋架設の爲急速移轉を要したる飯田町四丁目の一部第一移轉群建物八棟に對し、大正十五年四月二十四日移轉命令六通同通知二通を發したり、而して一般計畫に屬する建物に對しては、昭和二年四月

圖覽



第三章 移轉手續

第一節 移轉命令

堀留橋架設の爲急速移轉を要したる飯田町四丁目の一部第一移轉群建物八棟に對し、大正十五年四月二十四日移轉命令六通同通知二通を發したり、而して一般計畫に屬する建物に對しては、昭和二年四月より發令を開始し、同月中に飯田町四丁目及六丁目の一部第三十九移轉群外九移轉群建物三百三十四棟に對し、移轉命令二百二十八通、同通知三百五十四通を發し、爾來引續き發令に努め、同年七月三十日飯田町二丁目及三丁目各一部第三、第四、第二十三、第二十四移轉群の發令を最後とし、要移轉建物千三百三十九棟の内、協議並直轄移轉に依る十六棟を除きたる千三百二十三棟及工作物に對し、移轉命令九百七十七通、同通知千二百四十一通を發し、茲に全部の發令を終へたり、之を月別に示せば左の如し。

年	月	命令棟數	命令通知數	命令通知通數
大正十五年	四月	八	六	二
	昭和二年			
	四月	三三	二六	三三
	五月	三三	三〇	三三
昭和二年	六月	二六	二七	三〇
	七月	二九	二九	三三
合	計	一、三三	九七	一、四一

第二地區 乙 建物其の他の工作物移轉

備考 本表中には移轉命令發令後取消を爲したるものを含まず。

第二節 協議並直轄移轉

第一 協議移轉

本地區に於て協議移轉を爲したるもの建物十五棟、工作物十八件あり、内建物六棟、工作物三件は官公署の所有に係り、事業實施の便宜上、協議移轉を爲したるものにして、其の他の民有に屬する建物九棟、工作物十五件は、何れも移轉促進の爲特に急施を要したるものなり。

第二 直轄移轉

本地區に於て直轄移轉を爲したるもの民有建物一棟あり、右は昭和二年六月二十三日移轉命令を發したるに、所有者森某は指定期限を經過するも、容易に移轉工事に著手せざるを以て、銳意之が督勵中なりし處、同人は土地不法占據の原因に依り、土地所有者との間に争を生じ、遂に地主の申請に依り、裁判上の收去命令を受けたり、然るに是より先森某は右建物を増田某に適法に賣却したるに依り、前記收去命令は茲に其の効力を失ひたるのみならず、建物新舊所有者は當局に對し、建物所有者名義變更の手續を爲さず、其の解決は遽に逆踏すべからざるものあり、爲に附近に於ける事業の進捗上に影響を來したるを以て、曩に發令したる前記森某に對する移轉命令を取消し直轄工事を施行し、換地に之を移轉したるものなり。

第四章 損害補償

第一節 補償金の決定

移轉命令の發令に次で移轉損害補償金の算定に著手せり、乃ち早期移轉を要したる第一移轉群の八棟は、大正十五年六月で、其の地の一段計畫に屬する建物に對し、昭和二年三月五日の移轉命令に對し、

たるを以て、曩に發令したる前記森某に對する移轉命令を取消し直轄工事を施行し、換地に之を移轉したるものなり。

第四章 損害補償

第一節 補償金の決定

移轉命令の發令に次で移轉損害補償金の算定に著手せり、乃ち早期移轉を要したる第一移轉群の八棟は大正十五年六月に、其の他の一般計畫に屬する建物に對しては、昭和二年五月より建物及工作物の新築費並動産の種類、數量及營業休止に因る損害等の現地調査に著手、其の調査に基き移轉損害補償金の算定を爲し、第一移轉群の八棟は大正十五年七月に、其の他の建物に對しては昭和二年七月以降逐次補償審査會の審議決定を経たり、而して前記現地調査は昭和三年四月迄に終了し、又補償審査會に於ける補償金の決定も回を重ねること三十八回(變更案の決定を含む)にして、同年五月一先終了したるが、其の後に至り尙既決補償金の變更を要するものあり、之が審議決定を爲すこと十三回に及び、同四年七月全部の決定を了せり、尙補償審査會の決定を要せざるものに付ては、調査算定すると共に關係者と協定する等夫々處理を了したり。

補償審査會に於て決定したる補償金及その他の移轉料總額は、左表の如く百十六萬六千七百八十四圓十三錢にして、内國負擔額十五萬四千九百三十七圓七十錢、市負擔額百一萬千八百四十六圓四十三錢なり。

第二地區 乙 建物其の他の工作物移轉

建物棟數	延坪數	補償金	區分		坪當
			金額	坪	
一、三三九	二元、六八・二元 ^坪	一、二六、七四・二三 ^円	建物移轉料 六五、四五・六 ^円	二・四六 ^円	
			工作物移轉料 一八、五三・七	六・三五	
			造作移轉料 八、八三・〇九	〇・三〇	
			動産移轉料 一〇、二六・二四	三・四三	
			休業補償 一三、六三・二四	四・五一	
			雜費 九、一〇・〇〇	三・三五	
			計 一、二六、七四・二三	三九・三九	

因に前表建物及工作物移轉料算定の基準となりたる新築費を示せば左の如し。

種別	棟數	延坪數	延坪數	新築費	坪當單價
木造建物	一、三三三	二元、一五・二四 ^坪	二二・〇四 ^坪	一、九五、〇九・四九 ^円	六七・四〇 ^円
石造平家建	一	五・二五	五・二五	八三・七五	一五・〇〇
同 煉瓦造平家建	一	二・〇〇	二・〇〇	七、二五・二五	六四・一九
同 煉瓦造平家建	五	四八・五五	九・七一	一〇、〇五・四四	二〇七・三三
鐵骨造平家建	一	二・〇〇	二・〇〇	三〇・〇〇	一五・〇〇
同 鐵骨造平家建	一	二・八五	二・八五	一、七四・六〇	七九・三九

種別	棟數	延坪數	延坪數	新築費	坪當單價
鐵骨木造二階建	一	一五・四〇	一五・四〇	一〇、七九・六	六六・二四
鐵筋コンクリート造平家建	一	五・〇〇	五・〇〇	一、三〇・〇〇	二六四・〇〇
同 二階建	三	一八・〇〇	六〇・三三	二四、五八・〇〇	一三五・四六
土藏造二階建	二	二七・〇〇	一三・五〇	一一、〇八・七一	四一〇・五一
工作物	一	一	一	四八八、六三・三六	一六・五〇

石造平家建	一	五・二五	五・二五	八三・七五	一五・〇〇
同 二階建	一	一・〇〇	一・〇〇	七・五〇・二五	六〇・一九
煉瓦造平家建	一	四・五五	九・七一	一〇、〇六五・四四	二〇七・三三
鐵骨造平家建	一	二・〇〇	二・〇〇	三〇〇・〇〇	一五・〇〇
同 二階建	一	二・八五	二・八五	一、七三四・六〇	七九・三九

鐵骨木造二階建	一	一五・四〇	一五・四〇	一〇、〇七九・七六	六六・一四
鐵筋コンクリート造平家建	一	五・〇〇	五・〇〇	一、三三〇・〇〇	一六四・〇〇
同 二階建	三	一八・〇〇	六・三三	二四・五八・〇〇	一三五・四六
土藏造二階建	二	二七・〇〇	一三・五〇	一一、〇八三・七一	四一〇・五一
工 作 物	一	一	一	四八八・六七・三六	一六・五〇
計	一、三三九	二九、六八・三九	三三・三三	二、五三〇、八五八・三六	八五・一一

備考 工作物の坪當單價は其の新築費を建物總延坪數にて除したるものなり。
 前掲補償金及移轉料の總額を更に種別毎に分類して示せば左の如し。
 一 補償審査會に於て決定せる補償金

建物棟數	延坪數	補償金	内 訳		坪當
			區分	金額	
一、二八五	二七、六三三・三三 ^坪	一、〇九一、四六九 ^円 ・五四	建物移轉料	五九九、〇六・七六 ^円	二・六八
			工作物移轉料	一五六、二六三・〇九	五・六六
			造作移轉料	八、八三三・〇九	〇・三二
			動産移轉料	九九、二六七・八三	三・五九
			休業補償	一三三、六九〇・八三	四・八〇
			雜費	九五、三九七・九四	三・四五
			計	一、〇九一、四六九・五四	三九・五〇

第二地區 乙 建物其の他の工作物移轉

第二地區 乙 建物其の他の工作物移轉

二 協議移轉に依る移轉料

建物棟數	延坪數	移轉料	區分		金額	坪當
			內	外		
一五	四三・二七 ^坪	五〇、七三・一五 ^円	建物移轉料 一六、三〇九・〇四 ^円	工作物移轉料 三〇、〇七・八一	三、五二〇 ^円	三、四九七
			動産移轉料 一、四六・七一	休業補償 六九・八一	三・一六	一・四九
			雜費 二、一四・七六	計 五〇、七三・一五	四・六五	一〇九・四七

備考 本表に於て移轉料坪當りの著しく高率なるは、飯田町五丁目三十九番の二所在本市電氣局所管に係る、飯田町變壓所並同開閉所に於ける特殊工作物の移轉に比較的多額の移轉料を要したるに因るものなり。

三 直轄移轉工事費並其の補償金

建物	區分棟數	延坪數	補償金	工事費
一	一五 ^坪	三六・九〇 ^円	一一〇・〇〇 ^円	

四 不許可建物の移轉料

建物棟數	延坪數	移轉料	區分		金額	坪當
			內	外		
			建物移轉料 一九、九七・九九 ^円		三・二七 ^円	

第二節 補償金の決定通知と其の交付

移轉損害補償金の決定通知は大正十五年七月より開始し、爾來決定の都度之が通知を爲し、昭和三年五月を以て一先終了せるも、其の後に至り補償金の一部に變更を來したるものあり、之が變更通知は昭和四年七月に及びたり。

然るに前記通知書中、住所不明の爲返送せられたるもの多數あり、右は何れも住所異動に因るものなるを以て、之等に對しては極力其の移轉先を調査の上、判明したるものには夫々通知を爲し、全く所在不明なるものに付ては、昭和三年十月十三日本市公報に掲載し公示送達をなせり。

補償審査會に於て決定したる補償金及協議其の他の方法に依りたる移轉料は、昭和二年二月より之が交付を開始し、昭和六年三月末日迄に交付せし金額百十六萬六千九百七十八錢にして、内國負擔額十五萬四千九百三十七圓七十錢、市負擔額百一萬千七百七十二圓八錢なり。

而して昭和四年五月即ち移轉完了迄に、要移轉建物の内抵當權、質權の設定ありたるもの左表の通りしも、何れも關係人の同意を得て支拂を了したり。

權利の種類	件	建物棟數	工作物件數	計	
				質權	抵當權
				一	二四九
				一	三二七
				一	三三八
				一	二五〇

第五章 移轉實施

第一節 實施狀況

本地區に於ける移轉工事は堀留橋架設の爲、急速移轉を要したる第一移轉群の建物八棟を大正十五年

	質 權	抵 當 權
計	二五〇	二四九
	一	一
	三二八	三二七

第五章 移轉實施

第一節 實施狀況

本地區に於ける移轉工事は堀留橋架設の爲、急速移轉を要したる第一移轉群の建物八棟を大正十五年八月及九月中に、其の他の建物千三百三十一棟を昭和二年七月より同三年十二月迄に完了する豫定にして、之が實施の概要を述べれば、前記第一移轉群の建物八棟は、豫定期限に遅ること六月にして昭和二年三月に至り移轉を完了し、其の他の建物に對する移轉は、昭和二年に於ては豫定より遅れたるも、同三年に於ては順調の進捗を見たるを以て、最終工期たる昭和三年十二月迄に工事完了の豫定なりし千三百三十一棟の内、千三百二十一棟は豫定期間中に、六棟は昭和四年三月迄に殘餘の四棟即ち本市電氣局所管飯田町變壓所及開閉所は同局の都合に依り既定計畫を變更して昭和四年五月迄に、尙建物以外の工作物も同時期迄に移轉を了したり、之を年別に示せば左の如し。

昭和二年に於ける移轉

一 堀留橋々臺關係の建物移轉 堀留橋架設の爲急速移轉を要したる第一移轉群の建物八棟は、大正十五年八月及九月中に移轉工事を實施すべき豫定の處、右は地區内に於ける最初の移轉なりし爲、義務者に於て聊か逡巡し容易に工事に著手するに至らず、然るに一方幹線第十四號街路工事の進捗に伴ひ、橋臺造成工事も目睫に迫りたるを以て、義務者に對し急速移轉方を説示し、銳意督勵に努めたる結果、漸く翌昭和二年一月工事に著手し、同年三月に至り之を完了したるものにして、豫定期限に遅ること六月に及びたり。

第二地區 乙 建物其の他の工作物移轉

二 一般計畫に屬する建物の移轉 昭和二年七月より十二月に至る工事豫定棟數七百二十七棟に對し、工事完了せるもの三百八十棟此の進捗歩合五割二分二厘にして、殘餘の三百四十七棟は工事未了の儘翌年に繰越したり。

昭和三年に於ける移轉

昭和三年一月より十二月に至る既定の工事豫定棟數六百棟、之に前年より繰越しに係る三百四十七棟を加へたる合計九百四十七棟は、此の期に於て工事施行を要する棟數なり、内工事完了したるもの九百四十一棟此の進捗歩合九割九分四厘にして、殘餘の六棟は工事未了の儘翌年に繰越したり。

昭和四年に於ける移轉

一 前年より繰越したる建物の移轉 前年より工事未了の儘本年に繰越したる六棟は、三月迄に全部移轉を完了したり。

二 飯田町變壓所及開閉所の移轉 飯田町五丁目三十九番所在本市電氣局所管飯田町變壓所及開閉所の建物四棟及附屬工作物は、其の換地を約二百四十米北方に指定せられたるを以て、移轉計畫の當初に於て昭和三年二月迄に移轉せしむることとし、電氣局に協議したるところ、電力供給の關係上換地指定地に之に代るべき施設を完了したる後、在來建物及工作物の現地撤去を爲すべき順序に付、相當期間を要する旨申出ありしを以て、事情已むを得ざるものと認め、昭和四年五月迄に移轉せしむることとして、同三年四月二十六日協議成立したり、而して同局に於ては同年九月換地内の新築工事に著手し、同四年四月之を完成の上電力供給を開始し、同時に在來建物及同附屬工作物の撤去に著手し、翌五月に至り完了したり。

尙前記計畫の變更に伴ひ従前變壓所及開閉所々在地の一部に換地せられたる、第十四移轉群内建物二

棟の移轉計畫變更の要あるに至りしを以て既發移轉命令を取消し、移築中斷の工法に変更し其の契約を締結せり。

本地區に於て移轉を了したる建物を、更に移轉手續別に分類するときは、命令に依りたるもの千三百二十三棟(代執行を爲したるもの四棟を含む)協議に依りたるもの十五棟、直轄工事に依りたるもの一棟なり。

要する旨申出ありしを以て、事情已むを得ざるものと認め、昭和四年五月迄に移轉せしむることとして、同三年四月二十六日協議成立したり、而して同局に於ては同年九月換地内の新築工事に著手し、同四年四月之を完成の上電力供給を開始し、同時に在來建物及同附屬工作物の撤去に著手し、翌五月に至り完了したり。

尙前記計畫の變更に伴ひ従前變壓所及開閉所々在地の一部に換地せられたる、第十四移轉群内建物二

棟の移轉計畫變更の要あるに至りしを以て既發移轉命令を取消し、移築中斷の工法に變更し其の契約を締結せり。

本地區に於て移轉を了したる建物を、更に移轉手續別に分類するときは、命令に依りたるもの千三百二十三棟代執行を爲したるもの四棟を含む協議に依りたるもの十五棟、直轄工事に依りたるもの一棟なり。

右の外鐵道省買收地上の民有建物撤去に關し紛糾を爲したるものあり、其の経緯を述べ左の如し。鐵道省は本地區内に於て中央線の軌道敷地の擴張を計畫し、擴張豫定地の一部を現地買收の方法に據らず、代地として第十五移轉群内飯田町五丁目四番ノ一、面積二百七十五坪七合五勺の土地買收方を復興局に委託し來れり、依つて同局に於て之が買收の衝に當り、所有者林某と交渉を爲したるに、其の當時同地上に堀内某外十名所有に係る假設建築物十一棟ありしも、之を收去せしめ更地として引渡すべきことを條件として賣買契約を締結したり、然るに同買收地を換地に指定せられたる建物四十五棟の工期切迫し事業遂行上に著しく支障あるにも拘はらず、買收地上の建物は依然として存在しあるを以て、昭和二年八月十八日より買收の衝に當りたる復興局整地部長に、其の收去方を數次交渉したる處、同部長より萬一收去せざるときは最後の手段として、耕地整理法第二十七條の規定に依り直轄移轉工事を施行し、之に因り生じたる損害補償金及工事費は、土地買收費留保金中より支出する意圖なるに依り、整理施行者に於て可然處理ありたき旨回答に接したるも、事態異例に屬するを以て、慎重熟議の上本件は協議移轉の形式に依り移轉せしむるを良策と認め、其の移轉料は曩に鐵道省に留保せる土地買收金より支出するものとし、萬一協議調はざるときは已むを得ず整理施行者に於て直轄移轉工事を執行することの方針を定め、昭和三年四月五日建物所有者堀内某外八名(占有者一名を含み且前掲所有者十一名の内三名は既に地主と妥協し其の建物を收去せり)に對し、書面を以て同月十五日迄に現地撤去を爲すべく、且期

限後は耕地整理法の規定に依り整理施行者に於て強制除却すべきを以て、若し自己に於て協議移轉の方法に依り之を施行する意思あるときは、同月八、九の兩日中に其の手續を採るべき旨通告したるところ、前記九名は悉く協議移轉の方法に依り同月二十二日まで収去すべきことを承諾し其の契約を爲したり。

然るに一面土地所有者林某の申請に依り東京地方裁判所は、同三年四月十四日前記堀内某外七名に對し、土地及家屋の占有を解き、右建物を昭和三年四月十八日迄に収去して、其の敷地を鐵道省に明渡すべしとの假處分命令を發したり、依つて整理施行者は、同月十八日附を以て關係者一同に對し、裁判所の假處分命令に基き収去し若は収去せられたる場合は、當然協議に因る撤去と認めがたき旨夫々通知したり、而して前記堀内某外七名は同月十九日まで全部現地撤去を爲したるも右は假處分命令に基きたる移轉と認定し契約に因る移轉料を交付せざることとせり、然るに契約者中小野塚某は、契約に基きたる所有建物を撤去したるものと主張し、昭和五年三月二十四日日本市長、復興局長官及鐵道大臣を被告とし、移轉料支拂請求の訴を提起し繼續中なり。

移轉實施月別棟數表

(本表棟數は協議移轉及直轄移轉のものを含む)

年	月	移轉命令		補償金決定		工事完了豫定		工事完了	
		月別	累計	月別	累計	月別	累計	月別	累計
	四月		八						
	五月		八						
	六月		八						

大正十五年

昭和十五年

年	月	移轉命令	補償金決定	工事完了豫定	工事完了
大正十五年	七月		八		
	八月		八		
	九月		八	三五	
	十月		八		
	十一月		八		

第二地區

乙 建物其他の工作物移轉

昭和二年												大正十五年		
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	一	二	三
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
1	1	1	2	1	2	2	3							
1,333	1,333	1,333	1,330	1,336	1,336	1,337	1,000	733	333	8	8	8	8	8
3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	8
1,255	1,263	1,005	737	623	333	284	2	10	9	8	8	8	8	8
5	4	3	2	2	6									3
80	75	67	45	23	14	8	8	8	8	8	8	8	8	5
5	6	3	5	4	6	2								
44	38	37	25	26	0	8	8	8	8	8	8	8	8	

一七三

年	月	移轉命令	補償金決定	工事完了豫定	工事完了
	六月				
	五月				
	四月	8	8	8	

昭和四年					昭和三年										
五月	四月	三月	二月	一月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月
								四							
					一、三三九	一、三三八	一、三三六	一、三三七	一、三三五	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
								四			四	四	四		
					一、三三九	一、三三八	一、三三六	一、三三七	一、三三五	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、二八九	一、二九五	一、二六五
									九	六	七	六	六	一四五	一四四
					一、三三九	一、三三八	一、三三七	一、三三六	一、三三五	一、三三六	一、三三〇	一、二八三	一、二五五	一、二五九	一、〇四
一		一	二	六	五	三	三	三	九	〇	二	三	四	二	二
一、三三九	一、三三八	一、三三八	一、三三七	一、三三五	一、三三九	一、三三四	一、三〇一	一、二七六	一、二四六	一、二四八	一、〇三九	九一五	七九二	六四九	五五

第二節 代執行

移轉命令を受け指定期限を経過し、現場係員より工事實施方に付屢次誘導督勵を爲すも、容易に其の義務を果さざる爲、戒告を爲したるもの建物二百三十五棟、工作物五件ありたり。戒告後尙其の義務を履行せざる爲代執行を爲したるもの建物四棟あり、其の主なる原因は、占有者と

に翌三年五月同所に移動式住宅八棟、物置三棟を増設し、昭和三年十一月迄其の用に供したり、前記二箇所に於て收容せる世帯數並其の人員等を示せば左の如し。

設置場所	棟數		設置		撤去		期間		住宅		物置	
	住宅	物置	年月	年月	住宅	物置	世帯數	人員	世帯數	人員	世帯數	人員
麴町區飯田町一丁目一番地先道路敷	三	一	昭和二、九	昭和三、六	自昭和二、九至同三、六	一	六	五・七五	三三・五	一	一	一
同一番町四十一番	一〇	一	同二、一〇	同四、一	自同三、二一至同三、二二	一	三三	七・八二	一六・五	一	一	一
同	八	三	同三、一〇	同四、一	自同三、一五至同三、二二	一	四五	五・三三	二九	一	一	一
計	三〇	三	一	一	一	一	四二七	七・二二	三九	三七・五	三	四・〇〇

備考

一棟數欄に「固」とあるは固定式にして其の他は移動式なり。

一固定式住宅は四戸建なり。

一固定式に對する本表の平均數は總て戸數を以て算出す。

第四節 宅地造成

本地區の地勢東半部は平坦なるも、西半部は高臺にして坂路多く、雜段式に宅地造成工事を施行したる箇所尠からず、之が爲總工事百二十七件百三十一箇所に及べり、而して工事種別は土留工最も多く七

十三件七十三箇所(内大谷石積工七十件七十箇所此の面坪三百六十坪四九、コンクリート工三件三箇所此の面坪九坪〇六其の他は盛土工三十四件三十五箇所、切土工十八件二十一箇所及假下水工二件二箇所なり。

工事著手は大正十五年十二月麴町區飯田町四丁目一番の土留石垣及盛土工にして、それより建物移轉の進捗に伴ひ順次各種工事を施行せり、而して施工に當り飯田町六丁目、富士見町五丁目に於ける道路

丙 地下埋設物其他工作物整理

第一章 概説

本地區は廢道少かりし爲整理數量比較的少く工事は順調に進捗したり、而して工事施行中特記すべきものあり、即ち補助線街路第百二十四號中飯田町三丁目二十二番地先より富士見町五丁目十七番地先に至る長區間に亘る街路築造工事は建物を舊街路上に移し然る後新街路を築造せる爲、舊街路内に存せる多數の地下埋設物及之に準ずる工作物の整理は假設工事を爲す等複雑せる整理を爲すの止むなきに至りたり、又飯田町五丁目三十九番市電飯田町變電所移轉に伴ふ送電線其他地中工作物整理工事は整理費七萬千六百五十圓十八錢を要し他に多く例を見ざる大工事にして、其の整理方法の如何に因りては直ちに電車の運轉に支障を來す爲整理に際し切替移設等に尠からず困難を爲したり(第二章第二節參照)而して本地區に於ける工事數量は本枝管線處理電柱二百四十本、管線路一萬千二百八間、其他二百七箇所(一地區集計電柱六十本、管線路七千六百七十七間二、應急整理一工事電柱二十一本、管線路三千三百六十二間四、其他二百七箇所、假本整理電柱百五十九本、管線路二百六十八間四)及私有管線處理三千七百八十九件にして、内道路占用の許可又は承認を爲したる要求工事五百四十七件、内道路後修を要したるもの三百四十三件なり、之を事業別に見るときは水道工作物管線路千五百九十五間九、其他千八百八十二件及百六十六箇所整理費四萬三千一圓八十錢、市電工作物電柱七十三本、管線路四千三百二十三間、其他七十一件及二箇所整理費七萬七千九百八十八圓三十八錢、東電工作物電柱百六十七本、管線路百四十五間、其他千四百六十九件整理費一萬九千八百七十九圓八十一錢、瓦斯工作物管線路五千二百四十四間一、其他千六十七件及三十九箇所整理費四萬五百九十二圓六十錢なり、而して本地區に於ける整

理費は總計十七萬八千七百二圓五十九錢にして、内應急整理一工事の七萬五千四百九十三圓九十六錢を最高とし、私有管線の五萬九千四百四十七圓五十一錢之に次ぎ、其他は一地區集計、假本整理、道路後修の順序なり、是等の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

八十九件にして、内道路占用の許可又は承認を爲したる要求工事五百四十七件、内道路後修を要したるもの三百四十三件なり、之を事業別に見るときは水道工作物管線路千五百九十五間九、其の他千百八十二件及百六十六箇所整理費四萬三百一十一圓八十錢、市電工作物電柱七十三本、管線路四千三百二十三間、其の他七十一件及二箇所整理費七萬七千九百十八圓三十八錢、東電工作物電柱百六十七本、管線路百四十五間、其の他千四百六十九件整理費一萬九千八百七十九圓八十一錢、瓦斯工作物管線路五千二百四十四間一、其の他千六十七件及三十九箇所整理費四萬五百九十二圓六十錢なり、而して本地區に於ける整

理費は總計十七萬八千七百二十九圓五十九錢にして、内應急整理一工事の七萬五千四百九十三圓九十六錢を最高とし、私有管線の五萬九千四百四十七圓五十一錢之に次ぎ、其の他は一地區集計、假本整理、道路後修の順序なり、是等の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事一覽

種別	市水道局		市電氣局		東京電燈株式會社		東京瓦斯株式會社		計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
一地區集計	電柱	一、四七六・三	三、八八三・三	二、五九四・四五	三、〇七二・三	五、一五五・九	七、六七七・二	三、三八〇・六五	一、四七六・三	三、〇七二・三
	管線路	一、二八七・七一	二、九〇一・七	二、五九四・四五	三、〇七二・三	一、五五五・九	一、五五五・九	一、五五五・九	一、二八七・七一	二、九〇一・七
應急整理	電柱	二七・五	五八・六三	一三本	七九四・一六	五、一〇・二	二二	一、三〇四・二七	二七・五	五八・六三
	管線路	一、〇六・二	一、〇六・二	七、八二・〇八	六、一五六	三三・六	三三・六	三、三六二・四	一、〇六・二	一、〇六・二
假本整理	電柱	九二	四〇三・八六	三九本	三九六・六三	四、九〇九・五一	五、四・六	二六八・四	九二	四〇三・八六
	管線路	四〇三・八六	四〇三・八六	一〇八・八三	四、九〇九・五一	五、四・六	三三・六	三、三六二・四	四〇三・八六	四〇三・八六
私有管線	管線路	一、一八二	二四、三三五・五六	四六・四五	四、九〇九・五一	一〇、八七・四三	二、三、六三・六三	三、七九	一、一八二	二四、三三五・五六
	管線路	一、一八二	二四、三三五・五六	四六・四五	四、九〇九・五一	一〇、八七・四三	二、三、六三・六三	三、七九	一、一八二	二四、三三五・五六
道路後修	管線路	一、一五九・九三	一、一五九・九三	一、四八・三一	四、九〇九・五一	一〇、八七・四三	二、三、六三・六三	三、七九	一、一五九・九三	一、一五九・九三
	管線路	一、一五九・九三	一、一五九・九三	一、四八・三一	四、九〇九・五一	一〇、八七・四三	二、三、六三・六三	三、七九	一、一五九・九三	一、一五九・九三
計	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
計	一、四七六・三	三、八八三・三	二、五九四・四五	三、〇七二・三	五、一五五・九	七、六七七・二	三、三八〇・六五	一、四七六・三	三、〇七二・三	三、三八〇・六五
計	一、二八七・七一	二、九〇一・七	二、五九四・四五	三、〇七二・三	一、五五五・九	一、五五五・九	一、五五五・九	一、二八七・七一	二、九〇一・七	二、九〇一・七
計	二七・五	五八・六三	一三本	七九四・一六	五、一〇・二	二二	一、三〇四・二七	二七・五	五八・六三	五八・六三
計	九二	四〇三・八六	三九本	三九六・六三	四、九〇九・五一	五、四・六	二六八・四	九二	四〇三・八六	四〇三・八六
計	一、一八二	二四、三三五・五六	四六・四五	四、九〇九・五一	一〇、八七・四三	二、三、六三・六三	三、七九	一、一八二	二四、三三五・五六	二四、三三五・五六
計	一、一五九・九三	一、一五九・九三	一、四八・三一	四、九〇九・五一	一〇、八七・四三	二、三、六三・六三	三、七九	一、一五九・九三	一、一五九・九三	一、一五九・九三

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

假 理 本 計	電 柱 管 線 路	一 整 工 事 其 他 計	管 線 路	管 線 路
六九・三	六九・三	一六・九	一六・九	一六・九
一四六・七	一四六・七	一八六・八	一八六・八	一八六・八
一三三・四	一三三・四	一三三・四	一三三・四	一三三・四
四、四七〇・九	四、四七〇・九	四、四七〇・九	四、四七〇・九	四、四七〇・九
五〇・〇〇	五〇・〇〇	五〇・〇〇	五〇・〇〇	五〇・〇〇
七、一七一・九	七、一七一・九	七、一七一・九	七、一七一・九	七、一七一・九
六、八四一・〇	六、八四一・〇	六、八四一・〇	六、八四一・〇	六、八四一・〇

國市負擔區分

種 別	水 道	電		瓦 斯	計
		市	東		
私有管線	三、五九一・七六	八二・七	八六〇・二五	四、二七三・三三	九、五八・二
道路後修	九、三三五・九五	二、〇九〇・〇	二、二二二・〇八	一〇、九八八・五八	一四、五五・六一
合計	一二、八二七・七一	二、九〇二・七	三、〇七三・三三	一五、二六一・九	三四、〇六・七
一地區集計	一、五九四・七五	七二、七六・九六	五七二・六七	六〇〇・五	七五、四九三・九六
應急整理一工事	四〇三・八六	四五八・四五	四、九五九・五一	三九・八九	六、一九二・七一
假本整理	二、八九四・六四	一四五・二六	六六四・五三	二、四六一・三七	六、一六五・七九
事業者拂	一九、二八・三三	二五・五	七、六三〇・一〇	一九、一六三・八七	四六、一三〇・七〇
計	三、〇三三・八六	三六〇・七	八、二九四・六三	二、六三五・二四	五二、三〇三・四九
現金補償	二七四・六八	—	六〇八・七六	二六一・八五	一、一四五・二九
私有管線(個人拂)	二、〇一六・〇三	三三・三	一、九四・〇五	一、七五・五四	五、六九八・七三
計	二、三〇二・七〇	三三・三	二、五三三・八一	一、九九七・三九	六、八四一・〇

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

種別	昭和二年		昭和三年		昭和四年		昭和五年		支拂未済	計
	國負擔	市負擔	國負擔	市負擔	國負擔	市負擔	國負擔	市負擔		
計	三、一九・三	二、一五・二四	一、四八・三	三、一八・九	一、二七・二六	二、七三・三	七、三一・〇八			七、三一・〇八
道路後修										
市負擔	二、一五・二四	二、一五・二四	三、一八・九	二、一八・九	九、五四・二五	二〇、八九・四	五、八三・四三			五、八三・四三
國負擔	一、一五・二	二、四・三五	一、四八・三	一、〇・八	一、〇・八	三、六三・三	五、九一・五			五、九一・五
合計	三、三〇・五	四、三〇・五	四、六六・三	三、一八・九	一〇、八七・四	二三、六三・三	一一、七四・九			一一、七四・九
進捗歩合%	四〇、三二・八〇	七、九八・三八	七、九八・三八	七、九八・三八	一九、八七・八一	四〇、五三・六〇	一六、七〇・五九			一六、七〇・五九

年度別工事費支拂進捗状況

種別	昭和二年		昭和三年		昭和四年		昭和五年		支拂未済	計
	國負擔	市負擔	國負擔	市負擔	國負擔	市負擔	國負擔	市負擔		
一地區集計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
應急整理一工事	三三・元	—	—	—	—	—	—	—	—	三三・元
假本整理	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
私有管線	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
道路後修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	三三・元	—	—	—	—	—	—	—	—	三三・元
進捗歩合%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第二章 本枝管線處理

第一節 應急整理一地區集計

本地區に於ける當初契約數量は電柱四十本、管線路八千四十三間九及之に關係せる各種工作物にして、

進捗歩合%	計	私有管線	道路後修
一	三七	三三、四八・九	八四・七五
一	三七	二五、五二・三	二、三六・七
一	三七	一、九〇・七	三、四・九
一	三七	二、三三・四	六八・六四
一	三七	五、一四七・五	三、八四・六
一	三七	一、七、七〇・五	一〇

第二章 本枝管線處理

第一節 應急整理一地區集計

本地區に於ける當初契約數量は電柱四十本、管線路八千四十三間九及之に關係せる各種工作物にして、此の整理費三萬九千八百一十一圓九十二錢なり、而して假契約は水道、東電、瓦斯の各工作物に關し昭和二年三月五日締結したるを、工事は瓦斯工作物に關し同年九月十九日著手したるを、又本契約は昭和三年三月三十日東電工作物に關し契約したるを各々最初とし、それより逐次各事業者と契約を締結し工事を施行したり、其の事業者別契約並工事狀況を示せば左の如し。

種別	假契約年月日	本契約年月日	工事著手年月日	工事竣功年月日
市水道局	昭和 二、三、五	昭和 三、四、三	昭和 二、二、九	昭和 五、二、二六
市電氣局	昭和 二、三、五	昭和 三、五、〇	昭和 三、七、二五	昭和 四、六、一九
東京電燈株式會社	昭和 二、三、五	昭和 三、三、三〇	昭和 二、二、二〇	昭和 四、三、一五
東京瓦斯株式會社	昭和 二、三、五	昭和 三、五、一〇	昭和 二、九、一九	昭和 五、三、一五

工事施行中設計變更を要したる件數二十一件ありたる結果、電柱に於て二十本増加したるも、管線路に於て三百六十六間七の減少を爲したる爲、工事費に於て五千七百四十七圓二十錢の減額を爲せり、其の設計變更の狀況を見るに左の如し。

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

種別	電		柱		管線		計
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
當初契約	四〇本	二、七〇〇・四	八、〇三・九	三、〇二・八	三、〇二・八	三九、八一・九	
設計變更後(精算)	〇	三、三八〇・五	七、六七・二	三〇、六四・〇	三〇、六四・〇	三九、〇四・七	
差引増△減	二〇	五九〇・六	△三六・七	△六、三七・八	△五、七四・二〇		

尙工事竝支拂狀況を示せば左の如し。

工事進捗狀況

年 度	電		柱		管線		計
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
昭和二年	一六本	一、五九・六	九、九五・一	三、六〇・〇	四、九三・六	一四	
昭和三年	四	二、二〇・九	三、一八・一	一六、八九・五	一九、〇四・五	五	
昭和四年	〇	三、三八〇・五	七、六七・二	三〇、六四・〇	三〇、六四・〇	一〇〇	
計							

支拂狀況

年 度	國 負 擔	市 負 擔	計	歩 合 %
昭和三年	三、七五・六	九、五五・八	一三、三〇・六	三

第一 水道

年 度	國 負 擔	市 負 擔	計	歩 合 %
昭和四年	三、七九・七	九、七六・一	一三、五五・八	四〇
昭和五年	二、〇三・六	五、一〇・六	七、一四・二	二二
計	九、五八・二	二四、五三・六	三四、一一・八	一〇〇

支拂状況

年度	國負擔	市負擔	計	歩合%
昭和三年	三、七五・七六	九、五四・八四	一三、二〇・六〇	元

第一水道

年度	管線量	金額	歩合%
昭和四年	三、七九・七	九、七六・二	四〇
昭和五年	二、〇三・六	五、一〇三・六	三
計	九、五八・二	一四、八六・八	一〇〇

一 契約 昭和二年三月五日管線路千七百三十間九及關係工作物に對し整理費一萬六千五百五圓七十八錢を以て整理に關する假契約を爲し、更に昭和三年四月十三日之が本契約を締結したり、右整理費の國市負擔區分は國四千六百二十一圓六十二錢、市一萬千八百八十四圓十六錢なり。

二 工事 昭和二年三月五日假契約成立せるを以て同年十月二十四日最初の工事要求を爲し、昭和二年十一月九日工事に著手しそれより各種工事を逐次施行したり、然るに施行中三件の設計變更を爲したる結果、新設千七百七十四間四、撤去百二十一間八、埋殺百八十間一計千四百七十六間三となり、管線路に於て二百五十四間六の減少を爲したり、而して昭和五年二月二十八日を以て總工事を完了し、同年六月十五日竣功検査を了したり、其の進捗状況を見るに左の如し。

年度	管線		歩合%
	數量	金額	
昭和二年	二九・〇	一、一七・〇	八
昭和三年	一、三〇九・七	二、三九一・〇	九
昭和四年	三七・六	三、〇〇・九	三
計	一、四七六・三	二、八七・七	一〇〇

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

三 精算 本地區に於ける契約金額一萬六千五百五圓七十八錢、内國負擔四千六百二十一圓六十二錢、市負擔一萬千八百八十四圓十六錢にして、第一回前渡金は昭和三年六月十九日、第二回前渡金は同四年十一月十三日支拂手續を爲し、昭和五年九月五日精算を完了したり。

設計變更の結果精算金額一萬二千八百二十七圓七十一錢となり契約金額に比し三千六百七十八圓七錢の減額を爲したり、之を工種別に見るに新設千五十八間六金額九千七百七十八圓四十四錢、移設百十五間八金額二千五百八十六圓二十三錢、其他金額千六十三圓四錢にして國市負擔區分は國三千五百九十一圓七十六錢、市九千二百三十五圓九十五錢なり、其の精算狀況を示せば左の如し。

負擔別對照表

負擔區分	潰地面積	比率%	契約金額	精算金額	差引増△減
國負擔 幹線街路費	三,三七一 ^坪 ・〇	二六	四,六二・六二 ^円	三,五二・七六 ^円	△ 一,〇九・八六
補助線街路費	六三・〇〇	六	九〇・三〇	七九・六六	△ 一〇・六四
市負擔 土地整理費	七,九〇・一八	六六	一〇,八三・八二	八,四六・二九	△ 二,四七・五三
計	八,五九一・八	七三	一一,八四・一六	九,三五・九五	△ 二,四八・二一
合計	一一,四六六・七	一〇〇	一六,四五・六六	一三,八七・七七	△ 二,五八・八九

補償金對照表

工種	契約金額	精算金額	差引増△減
既設工作物と整理工作物と一致せる部分	八,〇三七・七七 ^円	五,七四二・六九 ^円	△ 二,二九五・〇八 ^円

過不足分(一致せざる部分)	小計	附帶工事分(假工事を含む)	補償額
六,七五二・五	一五,五八・九七	九四六・八一	一六,五三・七六
七九五・九五	一,四三三・〇三	三九四・六六	一,八二七・六九
六,〇二・九八	三,二五・九四	五五二・一三	三,八〇八・〇七
△ 七〇三・二七	△ 二七・五九	△ 五五二・一三	△ 三,八〇八・〇七

補償金對照表

工種	契約金額	精算金額	差引増△減
既設工作物と整理工作物と一致せる部分	八、〇七・七 ^円	五、七四・六 ^円	△ 二、二五・〇八

過不足分(一致せざる部分)	累計する分	小計	附帯工事分(假工事を含む)	補償額計
六、七五・二五	七五・九五	一五、五八・七	九六・八一	一六、五五・六
△ 七〇三・二七	△ 二七・五九	△ 三、一五・四	△ 五五・二三	△ 三、六八・〇七
△ 六、〇二・九	△ 六八・三六	△ 一三、四三・〇三	△ 三四・六	△ 一三、八七・七

第二電氣

(イ) 市電

一 契約 昭和三年五月十日電柱九本、地中線九百五間及關係工作物に對し整理費二千六百二十圓六錢を以て整理に關する本契約を締結したり、右整理費の國市負擔區分は國七百三十三圓六十二錢、市千八百八十六圓四十四錢なり。

二 工事 昭和三年五月十日本契約成立せるを以て同年七月二十五日最初の工事要求を爲し、同日工事に著手しそれより逐次各種工事を施行したり、然るに施行中六件の設計變更を爲したる結果、電柱新設十一本、撤去十本計二十一本、地中線新設二百七十五間、撤去七百一十一間七、埋殺五十八間三計千四十五間となり、電柱に於て十二本、地中線に於て百四十間の増加を爲せり、而して昭和四年六月十九日を以て總工事を完了し、同年十一月八日竣功検査を了したり、其の進捗狀況を示せば左の如し。

年 度	電 柱		地 中 線		計	歩 合 %
	數 量	金 額	數 量	金 額		
昭 和 三 年	二 ^本	三〇八・三 ^円	六五 ^間	一六〇・五 ^円	四六九・二七	一六
昭 和 四 年	一	九七九・二	二、四三・六〇	二、四三・六〇	二、四三・六〇	八四
計	三	三〇八・三	一、〇四一・〇	二、五九四・四五	二、九〇二・七七	一〇〇

三 精 算 本地區に於ける契約金額二千六百二十圓六錢内國負擔七百三十三圓六十二錢、市負擔千八百八十六圓四十四錢にして、前渡金は昭和四年一月十二日支拂手續を爲し、同年十二月十九日精算を完了したり。

設計變更の結果精算金額二千九百二十七錢となり、契約金額に比し二百八十二圓七十一錢の増額を見たり、之を工種別に見るに新設地中線五十間金額九百九十六圓六十一錢、移設電柱十本、地中線二百四間二金額千八百四十圓九十一錢、其他金額六十五圓二十五錢にして、國市負擔區分は國八百七十二圓七十七錢、市二千九十九圓なり、其の精算狀況を示せば左の如し。

負擔別對照表

負 擔 區 分	潰 地 面 積 比 率 %	契 約 金 額	精 算 金 額	差 引 増 △ 減
國 負 擔 幹 線 街 路 費	三、三六 ^坪 ・四九	七三三・六二	八二二・七七	七九 ^円 ・二五

市 負 擔	補 助 線 街 路 費	土 地 整 理 費	合 計
六三九・〇〇	七、九〇・一八	八、五九・一八	一、九四六・三六
一五七・二〇	一、七九・二四	一、八六・四四	二、六〇〇・八八
一七四・二七	一、九一・八三	二、〇九〇・〇〇	二、九〇二・七七
一六・九七	一八・五九	二〇三・五三	二八三・七一

負擔別對照表

負擔區分	潰地面積	比率%	契約金額	精算金額	差引増△減
國負擔、幹線街路費	三、三七・四 ^坪	二六	七三・六 ^円	八三・七 ^円	七九・二五

補償金對照表

合計	補助線街路費		市負擔、土地整理費		合計
	六三〇・〇〇	七、九〇・一八	八、五九・一八	一一、九六・七六	
合計	一〇〇	六	六	一〇〇	一一、九六・七六
	二、七三・二〇	一、七四・二七	一、七四・二七	二、七三・二〇	一六・九七
	一、七九・二四	一、九二・八三	一、九二・八三	一、七九・二四	一八・五九
	一、八六・四四	二、〇〇・〇〇	二、〇〇・〇〇	一、八六・四四	二〇・五
	二、六〇・〇〇	二、九三・七六	二、九三・七六	二、六〇・〇〇	二八・七

工種	契約金額	精算金額	差引増△減
既設工作物と整理工作物と一致せる部分	二、七三・九一 ^円	二、三九・〇一 ^円	△ 四・九〇 ^円
過不足分(一致せざる部分)	二二・三	六八・五	三六・二
累計する分	—	六五・二五	六五・二五
小計	二、四九・五〇	二、九〇・七六	四一・二六
附帯工事分(假工事を含む)	二四・六	—	△ 二四・六
補償額計	二、六〇・〇六	二、九〇・七六	二八・七

(口) 東電

一 契約 昭和二年三月五日電柱三十一本及關係工作物に對し整理費二千五百七十九圓六十三錢を以て整理に關する假契約を爲し、更に同三年三月三十日之が本契約を締結したり、右整理費の國市負擔區分は國七百二十二圓二十九錢、市千八百五十七圓三十四錢なり。

二 工事 昭和二年三月五日假契約成立せるを以て同年十一月四日最初の工事要求を爲し、同月第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

一九〇

二十日工事に著手しそれより各種工事を逐次施行したり、然るに施行中三件の設計變更を爲したる結果、電柱新設十九本、撤去十九本、其の他一本計三十九本となり、電柱に於て八本の増加を爲したり、而して昭和四年三月十五日を以て全工事を完了し、同年十二月二十日竣功検査を了したり、其の進捗状況を示せば左の如し。

年 度	電 柱		歩 合 %
	數	量	
昭和二年	一六本	一、二五九・六五	四
昭和三年	二三	一、八三三・六六	五
計	三九	三、〇九三・三二	一〇〇

三 精 算 本地區に於ける契約金額二千五百七十九圓六十三錢、内國負擔七百二十二圓二十九錢、市負擔千八百五十七圓三十四錢にして、前渡金は昭和三年六月二十一日支拂手續を爲し、同五年三月四日精算を完了したり。

設計變更の結果精算金額三千七十二圓三十三錢となり契約金額に比し四百九十二圓七十錢の増額を見たり、之を工種別に見るときは新設電柱一本金額百二圓六十六錢、移設電柱十八本金額二千九百三十圓三十五錢、其の他電柱二本金額三十九圓三十二錢にして國市負擔區分は國八百六十圓二十五錢、市二千二百十二圓八錢なり、其の精算狀況を示せば左の如し。

負擔別對照表

負擔區分	潰地面積	比率%	契約金額	精算金額	差引増△減
國負擔 幹線街路費	三、三六七・四 ^坪	二六	七三二・元	八〇〇・五 ^円	一三七・六 ^円

設計變更の結果精算金額三千七十二圓三十三錢となり契約金額に比し四百九十二圓七十錢の増額を見たり、之を工種別に見るときは新設電柱一本金額百二圓六十六錢、移設電柱十八本金額二千九百三十圓三十五錢、その他電柱二本金額三十九圓三十二錢にして國市負擔區分は國八百六十圓二十五錢、市二百十二圓八錢なり、其の精算狀況を示せば左の如し。

負擔別對照表

負擔區分	潰地面積	比率%	契約金額	精算金額	差引増△減
國負擔 幹線街路費	三、三八七・四九 ^坪	二元	七三・元	八六〇・二五 ^円	一三七・九 ^円
補助線街路費	六三九・〇〇	六	一四・七 ^六	一四・三 ^四	二元・五 ^六
市負擔 土地整理費	七、九〇・一八	六	一、七〇二・五 ^六	二、〇七・七 ^四	三五・一 ^八
計	八、五九・一八	三	一、八七・三 ^四	二、三二・〇 ^八	三四・七 ^四
合計	二、九四・空	一〇〇	二、五九・三 ^三	三、〇七・三 ^三	四九二・七〇

補償金對照表

工種	契約金額	精算金額	差引増△減
既設工作物と整理工作物と一致せる部分	二、二九・六 ^円	二、九三〇・三 ^五	六三三・七 ^円
過不足分(一致せざる部分)	五・二〇	一〇二・六	五・四 ^六
累計する分	—	三九・三	三九・三
小計	二、三四九・六	三、〇七三・三	七三三・五
附帯工事分(假工事を含む)	三九・八五	—	三九・八五
補償額計	二、五九・三 ^三	三、〇七三・三	四九二・七〇

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

第三 瓦 斯

一 契約 昭和二年三月五日管線路五千四百八間及關係工作物に對し整理費一萬八千六百四十八錢を以て整理に關する假契約を爲し、更に同三年五月十日之が本契約を締結したり、右整理費の國市負擔區分は國五千六十九圓八十一錢、市一萬三千三十六圓六十七錢なり。

二 工事 昭和二年三月五日假契約成立せるを以て同年九月十四日最初の工事要求を爲し、同月十九日工事に著手しそれより各種工事を逐次施行したり、然るに施行中九件の設計變更を爲したる結果、新設二千五十七間九、撤去四百四十九間、埋殺二千六百四十九間計五千五百五十五間九となり、管線路に於て三百五十二間一の減少を爲したり、而して昭和五年三月十五日を以て總工事を完了し、同日竣功検査を了したり、其の進捗狀況を示せば左の如し。

年 度	管 線 路		歩 合 %
	數 量	金 額	
昭 和 二 年	八六間	二、五四・〇〇	一七
昭 和 三 年	一、八〇・六	五、三四・六七	三五
昭 和 四 年	二、四八・二	七、三六・二四	四
計	五、一五・九	一五、二六・九一	一〇〇

三 精 算 本地區に於ける契約金額一萬八千六百四十八錢、内國負擔五千六十九圓八十一錢、市負擔一萬三千三十六圓六十七錢にして、第一回前渡金は昭和三年五月三十一日、第二回前渡金は同五年一月十七日支拂手續を爲し、同年八月二日精算を完了したり。

設計變更の結果精算金額一萬五千二百六十一圓九十一錢となり契約金額に比し二千八百四十四圓五十七錢の減額を見たり、之を工種別に見るときは新設千六百十七間九金額九千二百三十四圓六十一錢、移設四百四十間金額三千八百二十六圓八十五錢、其の他百五間一金額二千二百圓四十五錢にして國市負擔區分は國四千二百七十三圓三十三錢、市一萬九百八十八圓五十八錢なり、其の精算狀況を示せば左の如し。

昭和四年	二、四八五・二	七、三六・二四
計	五、一五五・九	一五、二六二・九二
		一〇〇

三 精算 本地區に於ける契約金額一萬八千六百四十八錢、内國負擔五千六十九圓八十一錢、市負擔一萬三千三十六圓六十七錢にして、第一回前渡金は昭和三年五月三十一日、第二回前渡金は同五年一月十七日支拂手續を爲し、同年八月二日精算を完了したり。

設計變更の結果精算金額一萬五千二百六十一圓九十一錢となり契約金額に比し二千八百四十四圓五十七錢の減額を見たり、之を工種別に見るときは新設千六百十七間九金額九千二百三十四圓六十一錢、移設四百四十間金額三千八百二十六圓八十五錢、其の他百五間一金額二千二百圓四十五錢にして國市負擔區分は國四千二百七十三圓三十三錢、市一萬九百八十八圓五十八錢なり、其の精算狀況を示せば左の如し。

負擔別對照表

負擔區分	潰地面積	比率%	契約金額	精算金額	差引増△減
國負擔 幹線街路費	三、三六七・四 ^坪	二六	五、〇六九・八一	四、一七三・三三	△ 七九六・四八
補助線街路費	六三九・〇〇	六	一、〇八六・三九	九二五・七一	△ 一七〇・六八
市負擔 土地整理費	七、九〇・一八	六	二、九五〇・二六	一〇、〇七三・八七	△ 一、八七七・四一
計	八、五五九・一八	三	一三、〇三六・六七	一〇、九八八・六一	△ 二、〇四八・〇六
合計	二、九四六・三六	一〇〇	一八、一〇六・四八	一五、二六二・九一	△ 二、八四三・五七

補償金對照表

工種	契約金額	精算金額	差引増△減
既設工作物と整理工作物と一致せる部分	一三、七〇二・六〇 ^円	一〇、五五四・七一 ^円	△ 三、一四七・八九
過不足分(一致せざる部分)	九七九・五五	二、五〇六・七五	一、五二七・二〇
累計する分	一、七六六・元	一、七九三・三三	一、四九三

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

年 度	電 柱		管 線 路		其 他		計	歩 合 %
	數量	金額	數量	金額	數量	金額		
昭 和 二 年	五本	一、二一〇	一、七	三〇・二七	一、七	五五・八三	一九・一九	一
昭 和 三 年	一〇	五〇〇・三	一〇四・八	八九七・二六	一、六	一、二五・四	二、六二・七三	三
昭 和 四 年	六	六五二・〇四	一六八・八	二、三、四七・五	四	七二・五九	二、四、一六・〇〇	三三
昭 和 五 年	三	一、三四・七	三、三六二・四	七、八、五三・四	二〇七	一、三三・五	四、八、四三・八四	六四
計	三	一、三四・七	三、三六二・四	七、八、五三・四	二〇七	一、三三・五	七、五、四三・九六	一〇〇

工事進捗状況

合 計	支 出 入 口		建 物 移 轉 支 障		計
	管 線 路	電 柱	管 線 路	電 柱	
計	一、五〇・三	一、〇六・三	一、五〇・三	一、〇六・三	一、五〇・三
管 線 路	七、八、八二・〇八	七、九四・一六	七、八、八二・〇八	七、九四・一六	七、八、八二・〇八
電 柱	四、五・四三	四、五・四三	四、五・四三	四、五・四三	四、五・四三
其 他	九・九〇	九・九〇	九・九〇	九・九〇	九・九〇
計	七、三、二〇・七二	七、三、二〇・七二	七、三、二〇・七二	七、三、二〇・七二	七、三、二〇・七二
管 線 路	七、八、八二・〇八	七、八、八二・〇八	七、八、八二・〇八	七、八、八二・〇八	七、八、八二・〇八
電 柱	三、八・七三	三、八・七三	三、八・七三	三、八・七三	三、八・七三
其 他	六・五	六・五	六・五	六・五	六・五
計	三、三、〇一・三	三、三、〇一・三	三、三、〇一・三	三、三、〇一・三	三、三、〇一・三
管 線 路	七、一、九三・六四	七、一、九三・六四	七、一、九三・六四	七、一、九三・六四	七、一、九三・六四
電 柱	四〇五・四六	四〇五・四六	四〇五・四六	四〇五・四六	四〇五・四六
其 他	九・九〇	九・九〇	九・九〇	九・九〇	九・九〇
計	七、三、七〇・〇	七、三、七〇・〇	七、三、七〇・〇	七、三、七〇・〇	七、三、七〇・〇
管 線 路	八、六・七四	八、六・七四	八、六・七四	八、六・七四	八、六・七四
電 柱	一、三、〇四・二七	一、三、〇四・二七	一、三、〇四・二七	一、三、〇四・二七	一、三、〇四・二七
其 他	七、八、五三・九四	七、八、五三・九四	七、八、五三・九四	七、八、五三・九四	七、八、五三・九四
計	一、三、五三・七五	一、三、五三・七五	一、三、五三・七五	一、三、五三・七五	一、三、五三・七五
管 線 路	七、五、四三・九六	七、五、四三・九六	七、五、四三・九六	七、五、四三・九六	七、五、四三・九六
電 柱	一、〇六・三	一、〇六・三	一、〇六・三	一、〇六・三	一、〇六・三
其 他	一、五〇・三	一、五〇・三	一、五〇・三	一、五〇・三	一、五〇・三
計	一、五〇・三	一、五〇・三	一、五〇・三	一、五〇・三	一、五〇・三

道 路 工 事 支 障	管 線 路		電 柱		計
	管 線 路	電 柱	管 線 路	電 柱	
計	一、〇六・三	一、〇六・三	一、〇六・三	一、〇六・三	一、〇六・三
管 線 路	四、〇・八二	四、〇・八二	四、〇・八二	四、〇・八二	四、〇・八二
電 柱	三、九・〇七	三、九・〇七	三、九・〇七	三、九・〇七	三、九・〇七
計	三、三、〇一・三	三、三、〇一・三	三、三、〇一・三	三、三、〇一・三	三、三、〇一・三
管 線 路	三、八・七三	三、八・七三	三、八・七三	三、八・七三	三、八・七三
電 柱	六・五	六・五	六・五	六・五	六・五
計	三、三、〇一・三	三、三、〇一・三	三、三、〇一・三	三、三、〇一・三	三、三、〇一・三
管 線 路	七、一、九三・六四	七、一、九三・六四	七、一、九三・六四	七、一、九三・六四	七、一、九三・六四
電 柱	四〇五・四六	四〇五・四六	四〇五・四六	四〇五・四六	四〇五・四六
計	七、三、七〇・〇	七、三、七〇・〇	七、三、七〇・〇	七、三、七〇・〇	七、三、七〇・〇
管 線 路	八、六・七四	八、六・七四	八、六・七四	八、六・七四	八、六・七四
電 柱	一、三、〇四・二七	一、三、〇四・二七	一、三、〇四・二七	一、三、〇四・二七	一、三、〇四・二七
計	一、三、五三・七五	一、三、五三・七五	一、三、五三・七五	一、三、五三・七五	一、三、五三・七五
管 線 路	七、五、四三・九六	七、五、四三・九六	七、五、四三・九六	七、五、四三・九六	七、五、四三・九六
電 柱	一、〇六・三	一、〇六・三	一、〇六・三	一、〇六・三	一、〇六・三
計	一、五〇・三	一、五〇・三	一、五〇・三	一、五〇・三	一、五〇・三

年 度	管 線 路		其 他		計	歩 合 %
	數量	金額	數量	金額		
昭 和 三 年	二七・五	五八・三	一五	一〇元・五	一、五四八・二七	七
昭 和 二 年	一 間	一 円	九ヶ所	一四・八一	一四・八一	一

支拂狀況

昭 和 四 年	二七・五	五八・三	一六	一〇元・三	一、四七四・一七	二
計	一	一	三	三・七	三・七	二

年 度	市 負 擔	歩 合 %
昭 和 三 年	二六〇・四	一六
昭 和 四 年	一、四〇一・四	三
昭 和 五 年	三・七	二
計	一、五四・七	一〇〇

第二 電 氣

(イ) 市 電

工事は昭和三年三月飯田町三丁目十番地先に於ける電車用側柱移設工事を最初としそれより逐次各種工事を施行し、同五年九月飯田町五丁目三十二番地先に於ける電柱移設工事を最終とし十六件の工事を全部完了したり、而して之に要したる整理費は七萬二千七百二十六圓九十六錢なり、尙工事施行中特記すべきは飯田町五丁目三十九番所在市電氣局飯田町變電所移轉に伴ふ地中線整理工事にして、整理費七萬千六百五十圓十八錢を要したる大工事なりしと、特殊なる整理方法を爲したる爲昭和四年四月二十四日工事著手より一年五箇月の日子を要したり、蓋し其の整理方法の如何に因りては電車の運轉に支障を來す爲急速整理を爲すこと能はず送電に支障なき限度に於て一少部分宛移轉を爲すの已むなき状態にあ

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

一九八

りたるに因るものなり、即ち一部工作物を移轉し之が完成したる後更に又他の一部を移轉せるが如き整理方法を採り整理を爲すに非ざれば整理不可能なる状況にありたるが爲めなり、而して本地區に於ける工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事進捗状況

年 度	電 柱		管 線		其 の 他		計	歩 合 %
	數量	金 額	數量	金 額	數量	金 額		
昭 和 二 年	二本	三六、三〇	一七間	三〇、二七	ヶ所	一	六、五七	一
昭 和 三 年	九	五〇、七〇	一	一	一	九、九〇	五二、六〇	一
昭 和 四 年	二	二五、二六	一六七、五	二三、四四、九七	一	四〇、八二	二三、七〇、九五	三
昭 和 五 年	一	一	三、〇八七、一	四八、四三六、八四	一	一	四八、四三六、八四	六
計	二三	七四、二六	三、二五六、三	七、八二二、〇八	二	五〇、七	七、七三六、九六	一〇〇

支拂狀況

年 度	市 負 擔	歩 合 %
昭 和 二 年	三三、三九	一
昭 和 三 年	三七、九四	一
昭 和 四 年	三三、八八、七九	三

(口) 東 電

昭 和 五 年 計	四 八、四三六、八四	七、七三六、九六	一〇〇
-----------	------------	----------	-----

年	昭	昭	昭
度	和	和	和
	四	三	二
	年	年	年
市			
負			
擔	三、八六・七九	三、七〇・九四	三、三三・三九
歩			
合			
%	三	一	一

昭
和
計
五
年
四、四六・八四
七、七六・六六
一〇〇
六

(ロ) 東電

工事は昭和二年四月飯田町二丁目二番地先に於ける電柱及支線柱移設工事を最初としそれより逐次各種工事を施行し、同五年一月富士見町六丁目三番地先より四番地先に至る架空ケーブル移設工事を最終として九件の工事を全部完了したり、而して之に要したる整理費は五百七十一圓六十七錢なり、其の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事進捗狀況

年	度	電		柱		管		線		計	歩
		數量	金	數量	金	數量	金	數量	金		
昭	和	三		一	七、八〇	一	六、二五	一	六、二五	七、八〇	一三
昭	和	一		一	三、七四	一	六、二五	一	六、二五	九、九九	一七
昭	和	四		一	三、八八	一	六、二五	一	六、二五	三、八八	七
計	計	八		一	五〇・一一	一	六、二五	一	六、二五	五〇・一六	一〇〇

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

支拂狀況

二〇〇

年 度	市 負 擔	步 合	%
昭 和 三 年	七三・八〇	三	
昭 和 四 年	三五四・九七	三	
昭 和 五 年	一四・九〇	二	
計	五七二・六七	一〇〇	

第三 瓦 斯

工事は昭和三年一月飯田町三丁目十番地先に於ける瓦斯引込管切廻工事を最初としそれより逐次各種工事を施行し、同四年十一月富士見町五丁目十四番地先に於ける瓦斯管移設工事を最終とし十一件の工事を全部完了せり、而して之に要したる整理費は六百圓五十八錢なり、其の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事進捗狀況

年 度	管 線 路		其 の 他		計	步 合 %
	數量	金 額	數量	金 額		
昭 和 二 年	一 間	— 円	三 八ヶ所	四一・〇一	四一・〇一	六
昭 和 三 年	三三・三	三七・〇七	三	一七五・九〇	五〇二・九七	八
昭 和 四 年	一・三	五・六〇	—	—	五・六〇	〇
計	三三・六	三三三・空	三 八ヶ所	二六・九二	六〇〇・五	一〇〇

支拂狀況

年 度	市 負 擔	步 合	%
昭 和 三 年	一八九・一〇	三	
昭 和 四 年	二二六・九一	三	
計	—	—	—

昭 和 四 年	昭 和 三 年	年 度	市 負 擔	步 合 %
四、五〇七・二六	二、五三三・四			一 七

支拂状況

昭 和 五 年	昭 和 四 年	昭 和 三 年	昭 和 二 年	計	電 柱		管 線 路		計	步 合 %
					數量	金額	數量	金額		
一五九	一〇	二二	二五	五本	五、二五九・二三	三六・四	九三・五八	六、一九二・七一	一〇〇	
					四、七〇〇・〇〇	一〇〇・〇	五〇〇・〇	五、二〇〇・〇〇	八	
					四、三六二・二三	二二・七	一〇八・八三	四、四七〇・九六	七三	
					三、七〇九・〇	一四・七	七三・七五	三、七八二・七五	一八	
					六、九三三・三	一〇	一、三三四・〇	六、九三三・三	一	

工事進捗状況

合 計	其 他	支 交 障 通	管 線 路		電 柱		計	步 合 %
			管 線 路	電 柱	管 線 路	電 柱		
九・二	九・二		四〇三・八六	四〇三・八六	二〇〇	二〇〇	八〇七・七二	一〇〇
二・七	二・七	一・七	一〇八・八三	一〇八・八三	二	二	一一一・八六	一三・七
三・九	三・九		三九〇・六二	三九〇・六二	二	二	三九二・八四	四四・七
二・五	二・五		二五・二六	二五・二六	二	二	二七・四六	三・七
四・九	四・九		四、九〇九・五	四、九〇九・五	二	二	四、九一一・五	五、二五九・一三
五・〇	五・〇		五〇〇・〇	五〇〇・〇	二	二	五〇二・〇	八四・六
四、九五九・五	四、九五九・五		四、九五九・五	四、九五九・五	二	二	四、九六一・五	七九・〇
五、〇〇〇	五、〇〇〇		五〇〇・〇	五〇〇・〇	二	二	五〇二・〇	八四・六
四、九一四・四	四、九一四・四		四、九一四・四	四、九一四・四	二	二	四、九一六・四	七九・〇
五〇〇	五〇〇		五〇〇・〇	五〇〇・〇	二	二	五〇二・〇	八四・六
五、三〇七・三	五、三〇七・三		五、三〇七・三	五、三〇七・三	二	二	五、三〇九・三	八四・六
一三・七	一三・七		一三・七	一三・七	二	二	一五・四	一〇〇

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

昭 和 三 年	昭 和 四 年	昭 和 五 年	計
二	一三	一〇	二五
三五・六	四、三六・一三	四、七〇・〇〇	五、三九・一三
一四・七	二・七	一〇〇・〇	二六・四
七三・五	一〇八・三	五〇・〇	九三・五
一、三二・四	四、四七〇・六	五〇・〇	六、一九一・七
一	三	八	一〇〇

支拂状況

年 度	市 負 擔	步 合 %
昭 和 三 年	二一・五三	一
昭 和 四 年	四、五七・二六	三
昭 和 五 年	一、六二・九〇	二六
計	六、一九一・七一	一〇〇

第一 水道

本地區に於ける工事件数は僅に飯田町六丁目二十四番地先水道鐵管切下工事及飯田町五丁目十九番地先給水管移設工事の二件管線路九十二間一にして昭和三年六月より同四年二月迄の間に全工事を完了したり、而して之に要したる整理費は四百三圓八十六錢にして昭和四年九月精算を爲し支拂を了せり。

第二 電 氣

(イ) 市 電

工事は昭和三年三月飯田町二丁目二十六番地先に於ける電柱移設工事を最初としそれより逐次各種工事を施行し、同四年七月飯田町五丁目地先に於ける電柱移設工事を最終とし五件の工事を全部完了せり、而して之に要したる整理費は四百五十八圓四十五錢なり、其の工事並支拂状況を示せば左の如し。

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

工事進捗状況

年 度	電 柱		管 線		計	歩 合 %
	數量	金 額	數量	金 額		
昭 和 二 年	三本	二・五 ^円	一 ^間	一 ^円	二・五 ^円	五
昭 和 三 年	三本	三六・〇 ^元	二・七	一〇八・三	四六・三	五
計	六本	三八・五 ^元	三・七	一〇九・三	四八・八 ^元	一〇

支拂状況

年 度	市 負 擔		歩 合 %
	數量	金 額	
昭 和 三 年	二 ^円	二・五 ^円	五
昭 和 四 年	二〇六・九	二〇六・九	五
昭 和 五 年	三三〇・三	三三〇・三	五
計	二〇九	四八八・七	一〇〇

(ロ) 東 電

工事は昭和三年二月飯田町四丁目十三番地先に於ける電柱移設工事を最初としそれより逐次各種工事を施行し、同五年十月飯田町五丁目十九番地先に於ける電柱移設工事を最終とし十五件の工事を全部完了せり、而して之に要したる整理費は四千九百五十九圓五十一錢なり、其の工事並支拂状況を示せば左の如し。

工事進捗状況

年 度	電 柱		管 線		計	歩 合 %
	數量	金 額	數量	金 額		
昭 和 二 年	二本	四七・六 ^円	一 ^間	一 ^円	四七・六 ^円	一
昭 和 三 年	二本	三七・六	一 ^間	一 ^円	三七・六	七

工事は昭和三年二月飯田町四丁目十三番地先に於ける電柱移設工事を最初としそれより逐次各種工事を施行し、同五年十月飯田町五丁目十九番地先に於ける電柱移設工事を最終とし十五件の工事を全部完了せり、而して之に要したる整理費は四千九百五十九圓五十一錢なり、其の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事進捗状況

年 度	電 柱		管 線		計	歩 合 %
	數量	金額	數量	金額		
昭 和 二 年	二 ^本	四 ^円 ・七 ^角	一 ^脚	—	四 ^円 ・七 ^角	一
昭 和 三 年	二	三 ^角 ・六 ^分	—	—	三 ^角 ・六 ^分	七
昭 和 四 年	七	四、〇四・〇四	—	—	四、〇四・〇四	八
昭 和 五 年	一〇	四七・〇〇	一〇	五〇・〇〇	五〇・〇〇	二
計	二〇	四、九六・五二	一〇	五〇・〇〇	四、九六・五二	一〇〇

支拂狀況

年 度	市 負	擔	歩 合 %
昭 和 二 年	—	三、七三・三三 ^円	七五
昭 和 三 年	—	一、二七・九六	二五
計	—	四、九六・五二	一〇〇

第三 瓦 斯

本地区に於ける工事件数は僅に飯田町六丁目二十四番地先瓦斯管切下工事及飯田町三丁目二十八番地先より二十九番地先に至る瓦斯管切下工事の二件にして、昭和三年六月より同四年一月迄の間に全工事を完了したり、而して之に要したる整理費は三百六十九圓八十九錢なり、其の工事並支拂狀況を示せば

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

左の如し。

工事進捗状況

年 度	管 線 路		歩 合 %
	數 量	金 額	
昭 和 三 年	五、六 ^間	三九、八 ^円	一〇〇
計	五、六	三九、八 ^円	一〇〇

支拂状況

年 度	市 負 擔	歩 合 %
昭 和 四 年	一六五、八〇 ^円	四五
昭 和 五 年	二〇四、〇 ^円	五五
計	三六九、八 ^円	一〇〇

第三章 私有管線處理

本地區に於ける私有管線整理工事に關する申請書の受付は大正十五年五月六日より之を開始し昭和三

年七月二十日迄に全部の受付を了せり、而して工事は大正十五年七月十九日之に著手しそれより順次建
 物移轉の進捗に伴ひ各種工作物の整理を爲し昭和四年十月四日を以て全工事を完了したり、其の申請書
 並整理件數は三千七百八十九件金額五萬九千四百七十七圓五十一錢にして之を事業別に見るときは水道千
 百八十二件金額二萬四千三百二十五圓五十六錢、市電七十一件金額三百八十一圓八十九錢、東電千四百
 六十九件金額一萬八百十七圓四十三錢、瓦斯千六十七件金額二萬三千六百二十二圓六十三錢なり、尙建

第三章 私有管線處理

本地區に於ける私有管線整理工事に關する申請書の受付は大正十五年五月六日より之を開始し昭和三年七月二十日迄に全部の受付を了せり、而して工事は大正十五年七月十九日之に著手しそれより順次建物移轉の進捗に伴ひ各種工作物の整理を爲し昭和四年十月四日を以て全工事を完了したり、其の申請書並整理件數は三千七百八十九件金額五萬九千四百四十七圓五十一錢にして之を事業別に見るときは水道千八百八十二件金額二萬四千三百二十五圓五十六錢、市電七十一件金額三百八十一圓八十九錢、東電千四百六十九件金額一萬八千七百七圓四十三錢、瓦斯千六十七件金額二萬三千六百二十二圓六十三錢なり、尙建物一棟當りの裝置數を見るに水道〇・八八栓、電燈三・七八燈、瓦斯〇・七九個計量器數なり、其の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

年七月二十日迄に全部の受付を了せり、而して工事は大正十五年七月十九日之に著手しそれより順次建物移轉の進捗に伴ひ各種工作物の整理を爲し昭和四年十月四日を以て全工事を完了したり、其の申請書並整理件數は三千七百八十九件金額五萬九千四百四十七圓五十一錢にして之を事業別に見るときは水道千八百八十二件金額二萬四千三百二十五圓五十六錢、市電七十一件金額三百八十一圓八十九錢、東電千四百六十九件金額一萬八千七百七圓四十三錢、瓦斯千六十七件金額二萬三千六百二十二圓六十三錢なり、尙建物一棟當りの裝置數を見るに水道〇・八八栓、電燈三・七八燈、瓦斯〇・七九個計量器數なり、其の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

年 度	工 事 狀 況			支 拂 狀 況		
	件 數	金 額	歩 合 %	國 負 擔	市 負 擔	合 計
大正十五年	三三	三、四三・二四	一			
昭和元年	一、八三	二、四六・六〇	四			
昭和二年	一、九二	二、八五・四〇	五			
昭和三年	三	四七・三三	一	二、九一	二、〇四	二、三〇五
昭和四年				一、七六	二、〇、三、七〇・九	三、四八・九
昭和五年				一〇	二、九、六、四七	二、三、五、三、六二
未 濟					二、九、七、三	一、九、〇、七
計	三、六九	五、一、四七・五二	一〇〇	四、七、七	三、三、三、三三	五、一、四七・五二

備考 △印は再設費未支拂(撤去費は支拂済)のもの。

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

二〇八

前記の内事業者拂に屬するもの三千七百八十九件金額五萬二千三百三圓四十九錢内國負擔四百七十七件金額六千六百六十五圓七十九錢、市負擔三千三百三十二件金額四萬六千三百三十七圓七十錢なり、尙現金補償に屬するもの七百三十四件金額六千八百四十四圓二錢にして内國負擔百十七件金額千四百五十五圓二十九錢、市負擔六百十七件金額五千六百九十八圓七十三錢なり、其の負擔狀況を示せば左の如し。

種別	水道		市電		東電		瓦斯		計		
	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	
事業者拂	國負擔	一五四	二、八九四・六四	二七	一四二・六	一七三	六四四・五三	二三三	二、四六一・七	四七	六、一五・七九
	市負擔	一、〇八二	二八、二八・三三	四	二五・五二	二九六	七、六〇〇・一〇	九四	二九、一三・八七	三、三三	四六、一七・七〇
計	一、一八〇	三〇、三三・九七	七一	三六〇・七一	四九〇	八、二四四・六一	一、〇七七	三三、六五・四四	三、八〇	五二、三三・四〇	
現金補償(個人拂)再設費	國負擔	二〇	二七四・六八	—	—	六九	六〇八・七六	二六	二六・八五	二七	一、一四五・二九
	市負擔	二二	二、〇八・〇二	二	二二・三	三三	一一、九四・〇五	一八三	一、七五・五四	六七	五、六八・七三
計	二二	二、三五・七〇	二	二二・三	一〇二	一二、一〇・八一	二〇九	一、九一・五八	一九四	六、八四・〇二	
合 計	國負擔	一五四	三、一六九・三二	二七	一四二・六	一七三	一、二七三・二八	二三三	二、七三三・三三	四七	七、三一・〇八
	市負擔	一、〇八二	二八、二八・三三	四	二五・五二	二九六	九、五四四・二五	九四	二九、一三・八七	三、三三	五二、三三・四〇
計	一、二三四	三〇、五五・六五	七一	三六〇・七一	四九〇	一二、一〇四・五三	一、〇七七	三三、八八・九一	三、八〇	五二、八六・八〇	

備考 合計件數欄中には再設費補償件數を含まず。

第一 水道

大正十五年五月六日より工事施行に關する申請書の受付を開始し昭和三年一月十一日迄に全部の受付

を了せり、工事は昭和二年三月二十二日之に著手し建物移轉の進捗に伴ひ逐次施行し同四年六月二日を以て全工事を完了したり、其の申請書並整理件數は千八百八十二件金額二萬四千三百二十五圓五十六錢にして、内撤去工事のみを爲し再設工事を爲さざりしもの百四十一件金額二千三百二圓七十錢なり、其の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事狀況	支拂狀況
------	------

第一 水道

大正十五年五月六日より工事施行に關する申請書の受付を開始し昭和三年一月十一日迄に全部の受付

備考 合計件数欄中には再設費補償件数を含まず。

計	一、八二四、三五・五	七	三、八二九、四九	二〇、八七、四三	一、〇六七、三三	三、七九	五、一四七・五
---	------------	---	----------	----------	----------	------	---------

を了せり、工事は昭和二年三月二十二日之に著手し建物移轉の進捗に伴ひ逐次施行し同四年六月二日を以て全工事を完了したり、其の申請書並整理件数は千八百八十二件金額二萬四千三百二十五圓五十六錢にして、内撤去工事のみを爲し再設工事を爲さざりしもの百四十一件金額二千三百二圓七十錢なり、其の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

年 度	工 事 状 況			支 拂 状 況		
	件 數	金 額	歩 合 %	國 負 擔	市 負 擔	合 計
大正十五年	七	一四、〇六	一			
昭和元年	五九	一、七〇・〇一	四			
昭和二年	五七	三、二六・二六	五			
昭和三年	九	一八・三三	一			
昭和四年						
昭和五年						
未 済						
計	一、八二	二四、三五・五	一〇〇	一四	三、一六・三	一、〇一

備考 △印は再設費未支拂(撤去費は支拂済)のもの。

第二 電 氣

(イ) 市 電

大正十五年十月二十日工事施行に關する申請書の受付を開始し昭和三年三月二十日迄に全部の受付を

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

了せり、工事は昭和二年四月一日之に著手し建物移轉の進捗に伴ひ逐次施行し同四年三月二十日を以て全工事を完了したり、其の申請書並整理件数は七十一件金額三百八十一圓八十九錢にして内撤去工事のみを爲し再設工事を爲さざりしもの二件金額二十一圓十二錢なり、其の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

年 度	工 事 状 況		支 拂 状 況	
	件 數	金 額	國 負 擔	市 負 擔
昭 和 二 年	三	一八・五	一	二
昭 和 三 年	一	一五・三	一	一
昭 和 四 年	一	一	一	一
計	五	三三・八	三	二
			合 計	
			件 數	金 額
			三	三三・八
			步 合 %	
			一〇〇	

(ロ) 東 電

大正十五年五月六日より工事施行に關する申請書の受付を開始し昭和三年七月二日迄に全部の受付を了せり、工事は大正十五年八月二十一日之に著手し建物移轉の進捗に伴ひ逐次施行し昭和四年十月四日を以て全工事を完了したり、其の申請書並整理件数は千四百六十九件金額一萬八百七十七圓四十三錢にして内撤去工事のみを爲し再設工事を爲さざりしもの三百八十件金額二千五百二十二圓八十一錢なり、其の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

年 度	工 事 状 況		支 拂 状 況	
	件 數	金 額	國 負 擔	市 負 擔
大 正 十 五 年	九	六・四	一	一
昭 和 元 年				
			合 計	
			件 數	金 額
			九	六・四
			步 合 %	
			一〇〇	

大正十五年五月六日より工事施行に關する申請書の受付を開始し昭和三年七月二日迄に全部の受付を了せり、工事は大正十五年八月二十一日之に著手し建物移轉の進捗に伴ひ逐次施行し昭和四年十月四日を以て全工事を完了したり、其の申請書並整理件数は千四百六十九件金額一萬八百七十七圓四十三錢にして内撤去工事のみを爲し再設工事を爲さざりしもの三百八十件金額二千五百二十二圓八十一錢なり、其の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

年 度	工 事 状 況			支 拂 状 況		合 計	
	件 數	金 額	歩 合 %	國 負 擔	市 負 擔	件 數	金 額
大正十五年	九	六、二四	一				
昭和元年	七〇五	五、一八・八〇	四				
昭和二年	七〇〇	五、四六・四〇	五〇	二七	七、〇二・三三	一、〇七九	七、九四・九五
昭和三年	一五	二五・九	一	四	二、四〇・八	三九〇	二、八五・五三
昭和四年							
昭和五年							
未 済							
計	一、四九	一〇、八七・四三	一〇〇	三七	九、五四・二五	一、四九	一〇、八七・四三

備考 △印は再設費未支拂撤去費は支拂済のもの。

第三 瓦 斯

大正十五年六月三十日より工事施行に關する申請書の受付を開始し昭和三年六月十五日迄に全部の受付を了せり、工事は大正十五年七月十九日之に著手し建物移轉の進捗に伴ひ逐次施行し昭和四年九月一日を以て全工事を完了したり、其の申請書並整理件数は千六十七件金額二萬三千六百二十二圓六十三錢にして内撤去工事のみを爲し再設工事を爲さざりしもの二百一十一件金額千九百九十七圓三十九錢なり、其の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

二二四

二三四、市電氣局六件其の延長六百八十間三四掘鑿面坪三百五十九坪七四五、東京電燈株式會社二十四件其の延長百八十二間〇二、掘鑿面坪九十五坪八、東京瓦斯株式會社二百四十六件其の延長三千八百零八間一五、掘鑿面坪千二百二十九坪二三九なり、尙之を類別すれば大掘鑿六十三件其の延長六千二百二十四間八六、掘鑿面坪二千四十五坪六〇五、小掘鑿百八十四件其の延長九百十八間五五、掘鑿面坪二百三十九坪一三なり、其の事業者別許可又は承認狀況を示せば左の如し。

年 度	大 掘 鑿			小 掘 鑿			計	
	件數	延 長	掘鑿面坪	件數	延 長	掘鑿面坪	延 長	掘鑿面坪
昭和二年	市 水道局	二	一〇七・六〇〇	三	五・五〇〇	一三・五七八	一六四・一〇〇	四六・二五八
	市 電氣局	一	一・〇〇〇	—	—	—	一・〇〇〇	〇・五〇〇
	東京電燈株式會社	四	二四・七〇〇	—	—	—	二四・七〇〇	一三・〇〇〇
	東京瓦斯株式會社	三	一九七・〇〇〇	四	七・九〇〇	二四・四〇〇	二七五・九〇〇	九〇・一四〇
	計	一〇	三〇〇・三〇〇	七	一三・四〇〇	三八・〇〇八	四四五・七〇〇	一四九・七九八
	市 水道局	七	八二・一〇〇	一七	二六・三〇〇	六八・九三三	一〇九七・四〇〇	三〇五・九三三
	市 電氣局	一	三三・七〇〇	—	—	—	三三・七〇〇	一〇六・八三五
	東京電燈株式會社	六	一五・四六〇	—	—	—	一五・四六〇	一三・四〇〇
	東京瓦斯株式會社	一六	二七・七八・六〇〇	一五	二二・九〇〇	六七・〇四〇	三、〇七・八〇〇	九〇・一六二
	計	三〇	九八・九〇〇	二七	五五・五〇〇	一三五・九七二	四、四七・四〇〇	一、三三・七六七
昭和三年	市 水道局	四	九三・七〇〇	一〇	二七・七〇〇	五〇・五九四	一、二〇・一四〇〇	三四八・二四四
	市 電氣局	四	三五・六〇〇	—	—	—	三五・六〇〇	二五・二四一
	東京電燈株式會社	一六	二七・七八・六〇〇	一五	二二・九〇〇	六七・〇四〇	三、〇七・八〇〇	九〇・一六二
	東京瓦斯株式會社	一六	二七・七八・六〇〇	一五	二二・九〇〇	六七・〇四〇	三、〇七・八〇〇	九〇・一六二
	計	三〇	九八・九〇〇	二七	五五・五〇〇	一三五・九七二	四、四七・四〇〇	一、三三・七六七
	市 水道局	四	九三・七〇〇	一〇	二七・七〇〇	五〇・五九四	一、二〇・一四〇〇	三四八・二四四
	市 電氣局	四	三五・六〇〇	—	—	—	三五・六〇〇	二五・二四一
	東京電燈株式會社	一六	二七・七八・六〇〇	一五	二二・九〇〇	六七・〇四〇	三、〇七・八〇〇	九〇・一六二
	東京瓦斯株式會社	一六	二七・七八・六〇〇	一五	二二・九〇〇	六七・〇四〇	三、〇七・八〇〇	九〇・一六二
	計	三〇	九八・九〇〇	二七	五五・五〇〇	一三五・九七二	四、四七・四〇〇	一、三三・七六七

昭和四年	
東京電燈株式會社	一四 一三一・八六〇 六九・四〇〇
東京瓦斯株式會社	一 四六四・五〇〇 一三・六五〇
計	三三 一、九四三・六六〇 八三・〇五〇
市 水道局	一三一・九二・四〇〇 五七・一三〇
市 電氣局	六 六〇・三〇〇 三九・七四五
東京電燈株式會社	一四 一三一・八六〇 六九・四〇〇
東京瓦斯株式會社	一 四六四・五〇〇 一三・六五〇
計	三三 一、九四三・六六〇 八三・〇五〇
市 水道局	一三一・九二・四〇〇 五七・一三〇
市 電氣局	六 六〇・三〇〇 三九・七四五

昭和三年		昭和四年		昭和五年		支拂未済		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
六	一五、四六〇	一四	一三、一八六〇	一四	一三、一八六〇	一	一四	一四	一三、一八六〇
東京電燈株式會社	一六二、七八六〇〇	一	四六四、五〇〇	一	四六四、五〇〇	一	一四、八八九	一	一三、一八六〇
東京瓦斯株式會社	三〇三、九八、九〇〇	一	二二、六五〇	一	二二、六五〇	一	三三	一	一三、一八六〇
市水道局	四	四	九三、七〇〇	四	二九七、五五〇	一	五〇、五九四	一	一、〇一、四〇〇
市電氣局	四	四	三五五、六〇〇	二	二五、二四一〇	一	四	四	三五五、六〇〇
計	三〇三、九八、九〇〇	一、一九一八五	二七〇	五三五、五〇〇	一三五、九七二	三〇〇	四、四七四、四〇〇	一、三三七、七六七	九〇一、六〇〇

昭和四年		昭和五年		支拂未済		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一四	一三、一八六〇	一四	一三、一八六〇	一	一四	一四	一三、一八六〇
東京電燈株式會社	一	一	二二、六五〇	一	三三	一	一三、一八六〇
東京瓦斯株式會社	一	一	四六四、五〇〇	一	四九、九五〇	一	一三、一八六〇
市水道局	一三二、九二、四〇〇	一三二、九二、四〇〇	五七、一三〇	一三二、九二、四〇〇	二、四六二、九〇〇	七〇〇、二三四	一、三、一八六〇
市電氣局	六八〇、三四〇	三五九、七四五	二五八	五五〇、五〇〇	二、四六二、九〇〇	七〇〇、二三四	一、三、一八六〇
計	一八、二〇〇	九五、八〇〇	一六、三〇九	二四六	三、八八、二五二	二、九二、三三九	九、五、八〇〇
東京電燈株式會社	二〇三、四〇〇、一〇〇	一〇三、九三〇	二六	三六八、〇五〇	一〇六、三〇九	二四六	三、八八、二五二
東京瓦斯株式會社	六三六、三四、八六〇	二、〇四五、六五	四八四	九八、五五〇	二、三九、四三三	四七	七、一、四三、四〇〇
市水道局	一三二、九二、四〇〇	五七、一三〇	一五八	五五〇、五〇〇	一三二、九二、四〇〇	二、四六二、九〇〇	七〇〇、二三四
市電氣局	六八〇、三四〇	三五九、七四五	二五八	五五〇、五〇〇	二、四六二、九〇〇	七〇〇、二三四	一、三、一八六〇
計	一八、二〇〇	九五、八〇〇	一六、三〇九	二四六	三、八八、二五二	二、九二、三三九	九、五、八〇〇

前記要求工事五百四十七件の内道路後修を要したるもの三百四十三件金額三千八百四圓六十九錢なり、其の支拂狀況を示せば左の如し。

事業者	昭和三年度		昭和四年度		昭和五年度		支拂未済		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
市水道局	七	三〇、一九	七	七九、七三	一	一四八	一	一、二五、九二	一五	一一〇、九一
市電氣局	一	一	二	七五、六七	一	六八、六四	一	一、四八、三三	四	一、四八、三三
東京電燈株式會社	一	一	六	四三、九四	一	三三、九三	一	一、四八、三三	八	四、五八、八七
東京瓦斯株式會社	二六	四六、二、五	五	二七五、〇三	一	一八	一	一八	三三	七、七、五九
計	三三	八四、三、五	二二	三、三、八、七	二	三三、九三	一	三三、九三	三三	三、八、四、九

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

昭和二年	
市電氣局	二
東京電燈株式會社	四
東京瓦斯株式會社	九
計	一五
市電氣局	一八〇・三〇〇
東京電燈株式會社	一九・八九〇
東京瓦斯株式會社	二四・九八
計	二〇四・九八
市電氣局	五四・二八
東京電燈株式會社	一七・一〇〇
東京瓦斯株式會社	二
計	七二
市電氣局	四・八五〇
東京電燈株式會社	二・〇〇〇
東京瓦斯株式會社	一・四六〇
計	八・三一〇
市電氣局	一・一〇〇
東京電燈株式會社	二〇・九〇
東京瓦斯株式會社	一〇・三
計	三二・三〇
市電氣局	一八・一五〇
東京電燈株式會社	二二・八九〇
東京瓦斯株式會社	一〇・二〇〇
計	五〇・一四〇
市電氣局	一八・二〇〇
東京電燈株式會社	一八・二〇〇
東京瓦斯株式會社	一〇・三〇〇
計	四六・七〇〇
市電氣局	一五・〇八〇
東京電燈株式會社	一五・〇八〇
東京瓦斯株式會社	一五・〇八〇
計	四五・二四〇
市電氣局	一五・〇八〇
東京電燈株式會社	一五・〇八〇
東京瓦斯株式會社	一五・〇八〇
計	四五・二四〇
市電氣局	一五・〇八〇
東京電燈株式會社	一五・〇八〇
東京瓦斯株式會社	一五・〇八〇
計	四五・二四〇

昭和三年		昭和四年		合計	
市水道局	二	市水道局	二	市水道局	二
市土木局下水課	一	市土木局下水課	一	市土木局下水課	一
市電氣局	七	市電氣局	七	市電氣局	七
東京電燈株式會社	二〇	東京電燈株式會社	一〇	東京電燈株式會社	一〇
東市瓦斯株式會社	三	東市瓦斯株式會社	二	東市瓦斯株式會社	二
遞信省	一	警視廳	一	警視廳	一
計	三四	計	二六	計	六〇
市水道局	五八一・〇五〇	市水道局	九一・一〇八・二二〇	市水道局	一、〇〇〇・〇〇〇
市土木局下水課	一六六・〇三〇	市土木局下水課	三三・一五〇	市土木局下水課	三三・一五〇
市電氣局	三三〇・四四〇	市電氣局	三〇・四四〇	市電氣局	三三〇・四四〇
東京電燈株式會社	一八九・一六〇	東京電燈株式會社	一八九・一六〇	東京電燈株式會社	一八九・一六〇
東市瓦斯株式會社	一六九・〇〇〇	東市瓦斯株式會社	八二・〇〇〇	東市瓦斯株式會社	一六九・〇〇〇
遞信省	三三・九〇〇	警視廳	五・〇〇〇	警視廳	五・〇〇〇
計	八四〇・六〇〇	計	二六二・三三〇	計	一、一〇二・九三〇
市水道局	七八・五五〇	市水道局	四二・〇四〇	市水道局	一二〇・五九〇
市土木局下水課	一三三・一三〇	市土木局下水課	六〇・一七〇	市土木局下水課	一三三・一三〇
市電氣局	五五・七四	市電氣局	三三・七七	市電氣局	五五・七四
東京電燈株式會社	三九・九〇〇	東京電燈株式會社	三三・一〇〇	東京電燈株式會社	三九・九〇〇
東市瓦斯株式會社	八二・三〇〇	東市瓦斯株式會社	七三・〇二〇	東市瓦斯株式會社	八二・三〇〇
遞信省	一四・四二〇	警視廳	五・〇〇〇	警視廳	五・〇〇〇
計	二九二	計	一九二	計	四八四
市水道局	二九六・六七〇	市水道局	五〇・六六〇	市水道局	三四七・三三〇
市土木局下水課	一	市土木局下水課	一	市土木局下水課	一
市電氣局	二・五〇〇	市電氣局	一	市電氣局	二・五〇〇
東京電燈株式會社	一〇・五〇〇	東京電燈株式會社	一〇・一〇〇	東京電燈株式會社	一〇・五〇〇
東市瓦斯株式會社	一八・三三二	東市瓦斯株式會社	一四・一三三	東市瓦斯株式會社	一八・三三二
遞信省	一	警視廳	一	警視廳	一
計	四九七・九一二	計	一六六・三三三	計	六六四・二四五
市水道局	四二・二七六	市水道局	二二・三六六	市水道局	六四・六四二
市土木局下水課	一	市土木局下水課	一	市土木局下水課	一
市電氣局	一三・六三〇	市電氣局	一	市電氣局	一三・六三〇
東京電燈株式會社	五・三〇〇	東京電燈株式會社	五・四〇〇	東京電燈株式會社	五・三〇〇
東市瓦斯株式會社	一三・六三〇	東市瓦斯株式會社	一三・六三〇	東市瓦斯株式會社	一三・六三〇
遞信省	一	警視廳	一	警視廳	一
計	七五〇・三八〇	計	五二・四〇〇	計	一、二〇二・七八〇
市水道局	七・三四八	市水道局	二九・六九〇	市水道局	三七・〇三八
市土木局下水課	一	市土木局下水課	一	市土木局下水課	一
市電氣局	〇・七五〇	市電氣局	一	市電氣局	〇・七五〇
東京電燈株式會社	五・九〇〇	東京電燈株式會社	一	東京電燈株式會社	五・九〇〇
東市瓦斯株式會社	五・四九〇	東市瓦斯株式會社	一	東市瓦斯株式會社	五・四九〇
遞信省	一	警視廳	一	警視廳	一
計	二二・三六八	計	三二・八八〇	計	五五・二四八
市水道局	一四九	市水道局	二九	市水道局	一七八
市土木局下水課	一	市土木局下水課	一	市土木局下水課	一
市電氣局	一	市電氣局	一	市電氣局	一
東京電燈株式會社	一	東京電燈株式會社	一	東京電燈株式會社	一
東市瓦斯株式會社	一	東市瓦斯株式會社	一	東市瓦斯株式會社	一
遞信省	一	警視廳	一	警視廳	一
計	一五七・一七〇	計	一、七五・〇九二	計	一、九〇七・二六二
市水道局	一三〇・四五〇	市水道局	一、六六八・八七〇	市水道局	一、七九九・三二〇
市土木局下水課	一	市土木局下水課	一	市土木局下水課	一
市電氣局	一七・七三〇	市電氣局	一	市電氣局	一七・七三〇
東京電燈株式會社	八四・〇三〇	東京電燈株式會社	一	東京電燈株式會社	八四・〇三〇
東市瓦斯株式會社	一七・七三〇	東市瓦斯株式會社	一	東市瓦斯株式會社	一七・七三〇
遞信省	一	警視廳	一	警視廳	一
計	二五〇・八九〇	計	一、六六八・八七〇	計	一、九〇七・二六二
市水道局	一三〇・四五〇	市水道局	一、六六八・八七〇	市水道局	一、七九九・三二〇
市土木局下水課	一	市土木局下水課	一	市土木局下水課	一
市電氣局	一七・七三〇	市電氣局	一	市電氣局	一七・七三〇
東京電燈株式會社	八四・〇三〇	東京電燈株式會社	一	東京電燈株式會社	八四・〇三〇
東市瓦斯株式會社	一七・七三〇	東市瓦斯株式會社	一	東市瓦斯株式會社	一七・七三〇
遞信省	一	警視廳	一	警視廳	一
計	二五〇・八九〇	計	一、六六八・八七〇	計	一、九〇七・二六二

第二地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

警 遞	視 信	計 廳 省
一	一	一
三・九〇〇	三・九〇〇	三・九〇〇
一四・四二〇	一四・四二〇	一四・四二〇
五・〇〇〇	五・〇〇〇	五・〇〇〇
五・〇〇〇	五・〇〇〇	五・〇〇〇
一・五九六・三五三	一・五九六・三五三	一・五九六・三五三
五五五	五五五	五五五
一・四〇七・四三三	一・四〇七・四三三	一・四〇七・四三三
二九七・六五〇	二九七・六五〇	二九七・六五〇
一	一	一
三・九〇〇	三・九〇〇	三・九〇〇
一四・四二〇	一四・四二〇	一四・四二〇
五・〇〇〇	五・〇〇〇	五・〇〇〇
五・〇〇〇	五・〇〇〇	五・〇〇〇
一・八四四・〇〇〇	一・八四四・〇〇〇	一・八四四・〇〇〇

第三 道路臺帳

道路臺帳は昭和五年一月三十一日之が作成を了し市土木局に引繼を爲したり、其の臺帳記入工作物は電柱二百八十九本、管線路一萬四千四百三十七間九七にして之を類別すれば新設せるもの電柱百八十八本、管線路六千七百七十二間七四、撤去せるもの電柱百一本、管線路二千六十五間九一、埋殺せるもの管線路二千五百九十九間三二なり、其の事業別數量を示せば左の如し。

種 別	新 設	撤 去	埋 殺	計
水 道	二、五九二・八〇〇	四五二・三三〇	一八・二三〇	三、一〇二・八三〇
電 柱	三二一・五六〇	九五本	一	三二一・五六〇
電 電	一八二本	六本	一	一八二本
電 電	一、〇四七・〇七〇	四八七・二六〇	一	一、五三四・三三〇

瓦 電	電 纜	電 東
一四・八〇〇	一四・八〇〇	一四・八〇〇
一六・八三〇	一六・八三〇	一六・八三〇
二、六五三・〇〇〇	二、六五三・〇〇〇	二、六五三・〇〇〇
六四・三五〇	六四・三五〇	六四・三五〇
一五・〇七〇	一五・〇七〇	一五・〇七〇
一、〇四七・九〇〇	一、〇四七・九〇〇	一、〇四七・九〇〇
二、四八八・一〇〇	二、四八八・一〇〇	二、四八八・一〇〇
一〇三・一五〇	一〇三・一五〇	一〇三・一五〇
三・九〇〇	三・九〇〇	三・九〇〇
六、一一九・二〇〇	六、一一九・二〇〇	六、一一九・二〇〇

第二地區

丙 地下埋設物其他工作物整理

計	瓦		電	
	管	電	遞	纜
線	柱	斯	信	東
路	路	路	路	路
六、七三、四〇〇 ^間	一八 ^本	二、六五三、一〇〇 ^間	一六、八三〇 ^間	一四、八〇〇 ^間
二、〇五五、九一〇 ^間	101 ^本	一、〇四七、九〇〇 ^間	一五、〇七〇 ^間	六四、三五〇 ^間
二、五九九、三三〇 ^間		二、四二八、一〇〇 ^間		
二、四四七、九七〇 ^間	二八九 ^本	六、二九二、一〇〇 ^間	三、九〇〇 ^間	二〇九、一五〇 ^間

電		
柱		
市	東	市
電	電	電
一、〇四七、〇七〇 ^間	一八二 ^本	六本
四八七、二六〇 ^間	九五 ^本	六本
一、五三四、三三〇 ^間	二七七 ^本	二本
		三四、五六〇 ^間

第
三
地
區

院藏地圖

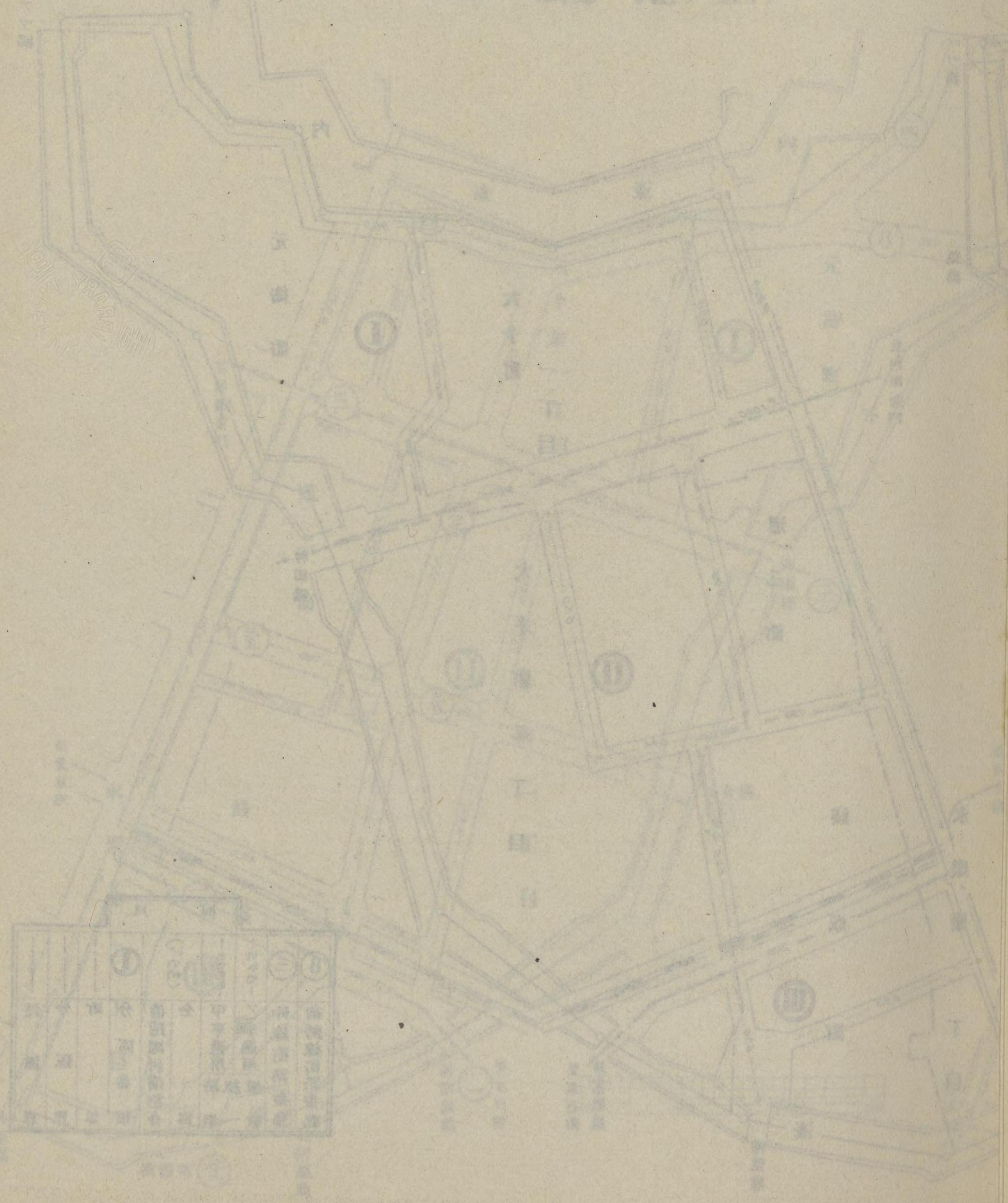
(卷)



策三

圖說 燕 巢 圖

(堂 殿 廟) 卷



①	正殿	正殿	正殿
②	中殿	中殿	中殿
③	東廡	西廡	東廡
④	西廡	東廡	西廡
⑤	東廡	西廡	東廡
⑥	西廡	東廡	西廡
⑦	東廡	西廡	東廡
⑧	西廡	東廡	西廡
⑨	東廡	西廡	東廡
⑩	西廡	東廡	西廡

城防圖

(聖聖公理堂)

